

静岡県御前崎市

# 文化財年報 XIX

令和4年度



2023

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定有形文化財「玄翁堂の十一面観音立像」

静岡県御前崎市

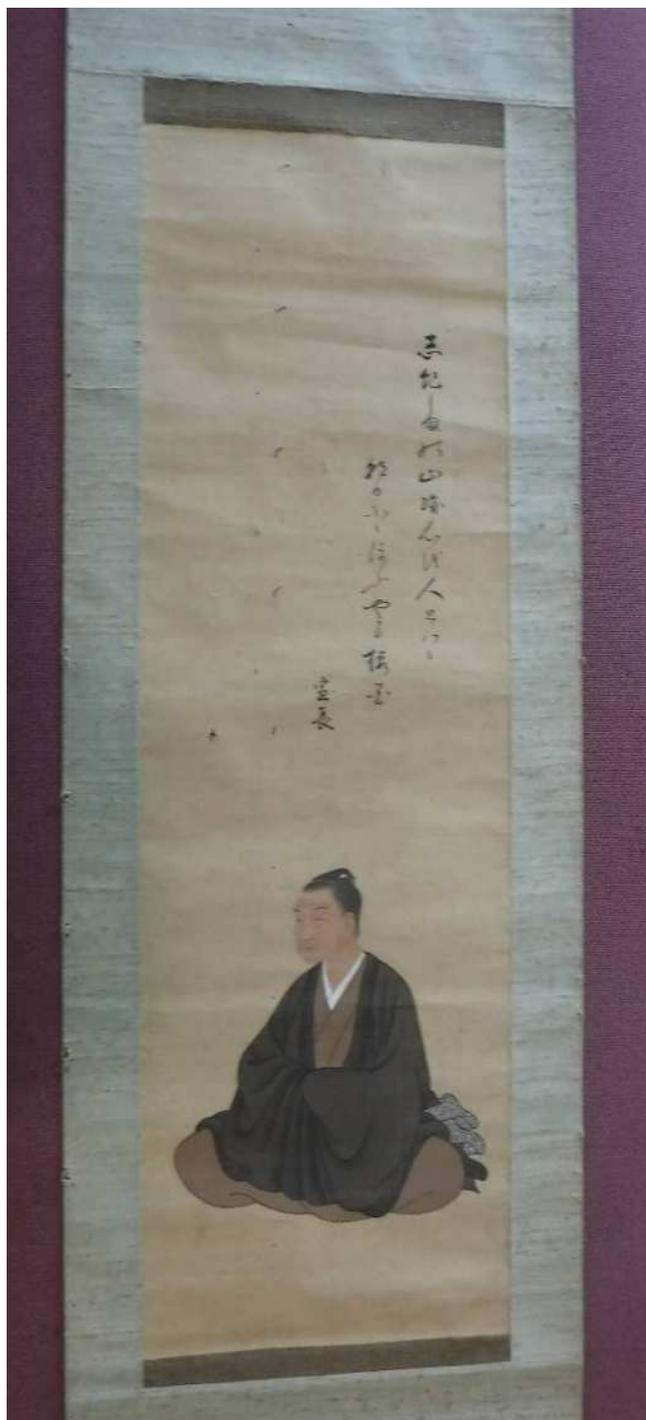
# 文化財年報 XIX

令和4年度

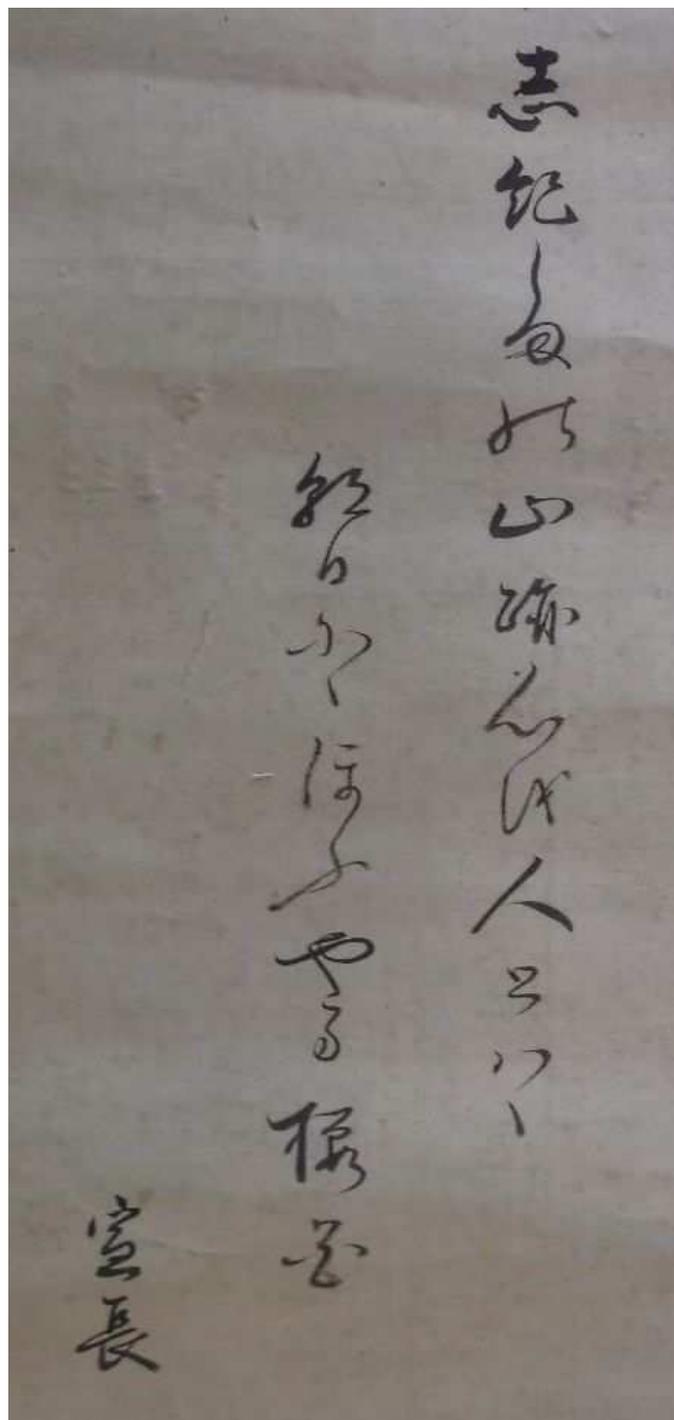
2023

御前崎市教育委員会





1 本居宣長像自賛(掛軸)



2 本居宣長像自賛

写真 1 御前崎市指定有形文化財(書跡)「本居宣長像自賛(掛軸)」



写真1 灯台ワールドサミット in 御前崎「国指定重要文化財の現役灯台パネル展」



写真2 灯台ワールドサミット in 御前崎「国指定重要文化財の現役灯台パネル展」

# 序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧之原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡をはじめ、戦国時代の城館にいたるまで100箇所以上様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人達が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、より多くの方が当時の文化や歴史に触れ、その多様な価値によって豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで令和4年度も下記のように文化財保護事業を行いました。

つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様の御理解、御協力に感謝し、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

以下、令和4年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財試掘調査3件(道田遺跡・横舟遺跡・会下ノ谷遺跡)
- 埋蔵文化財工事立会4件(道田遺跡・横舟遺跡・上ノ城遺跡)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」保護事業
- 県指定有形文化財「比木賀茂神社社叢」の現状変更
- 市指定有形文化財「本居宣長自賛」掛軸の指定
- 市指定有形文化財「高松神社本殿」説明看板設置工事
- 市指定天然記念物「旧朝比奈小学校の黒松」説明看板設置工事
- 御前崎市文化財保護審議会の開催
- 御前崎市立第一小学校の埋蔵文化財出張授業
- 広沢老人クラブ指定文化財出張授業
- 比木歴史探訪ウォーク埋蔵文化財出張授業
- 御前崎市文化財講座(御前崎地区)の開催
- 大産業まつりにおける「原始体験学習」の開催
- 灯台ワールドカップ in 御前崎における「国指定重要文化財の現役灯台パネル展」の開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し

令和5年3月31日

御前崎市教育委員会 教育長職務代理 竹田和世

# 例 言

1 本書は、令和4年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。

2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。

3 令和4年度に試掘調査を実施した道田遺跡・横舟遺跡の試掘調査調査報告書を掲載した。

4 試掘調査の体制は、次のとおりである。

調査主体 御前崎市教育委員会

調査員 村本 薫

5 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。

ウミガメ保護監視員 高田 正義 (通算 27年目)

良知 正美 (通算 17年目)

澤部 春市 (通算 11年目)

早山 彰夫 (通算 8年目)

横山 俊明 (通算 5年目)

渡辺 元治 (通算 4年目)

曾根 敏治 (通算 1年目)

福田 伸次 (通算 1年目)

6 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。

教 育 長 河原崎 全(令和4年12月31日まで)

教育長職務代理者 竹田 和世(令和5年1月1日から令和5年3月31日まで)

教 育 部 長 長尾 詔司(令和5年3月31日まで)

社会教育課長 鈴木 和明

芸術文化係長 村本 薫

芸術文化係 清水 皓太

7 本書の執筆は文化財担当が分担して行い、編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。

I 埋蔵文化財調査 1～4 村本 薫

II 文化財保護・管理 1～3 清水皓太 4～10 村本 薫

III 文化財活用啓蒙活動 1～7 村本 薫

IV 指定文化財一覧表 V 文化財関係刊行図書一覧 村本 薫

8 本書に収録した図、写真はすべて御前崎市教育委員会が保管している。

# 目 次

巻頭図版

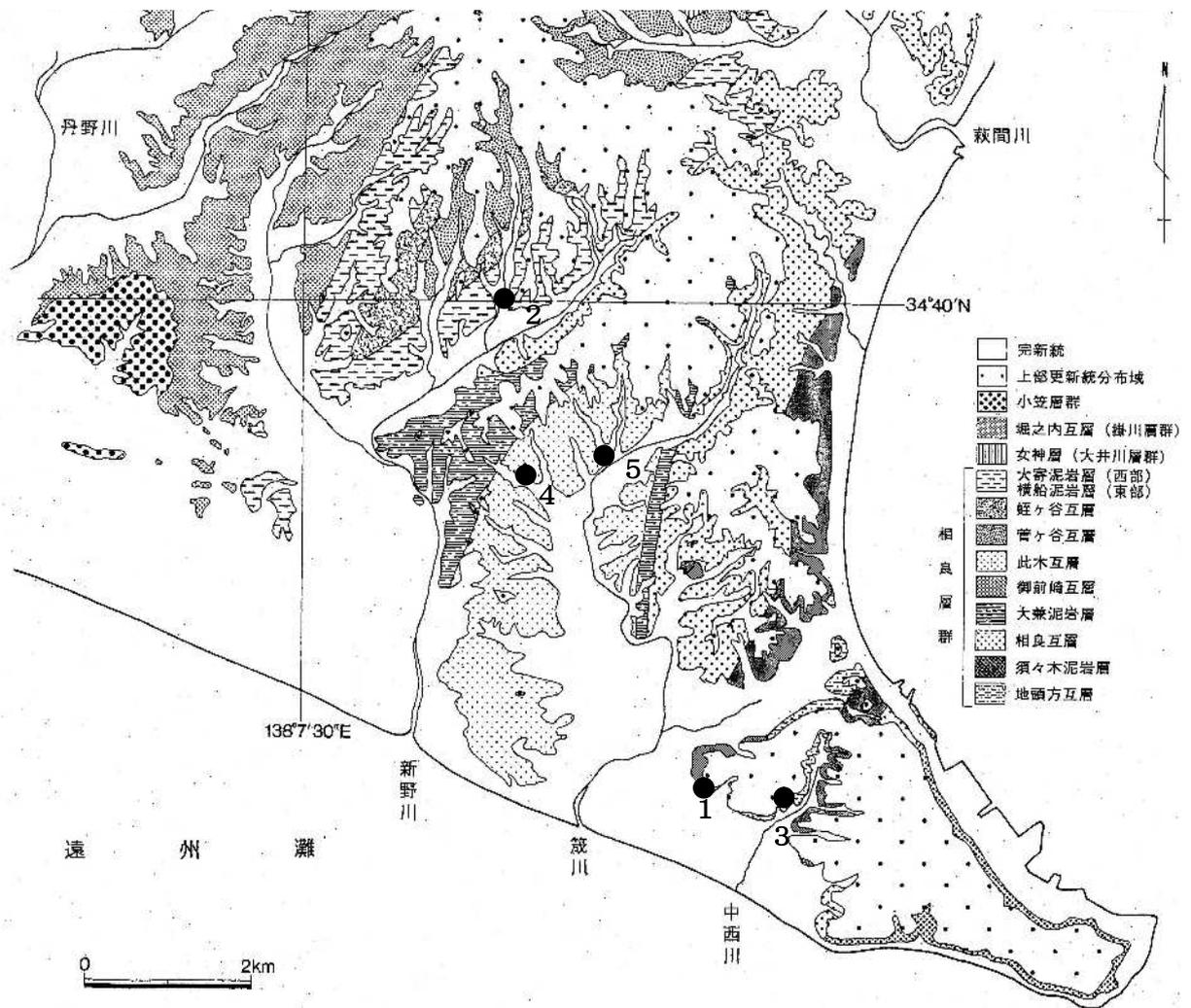
序 文

例 言

目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡試掘調査・工事立会の概要	1
2	道田遺跡試掘調査報告書	2
3	横舟遺跡試掘調査報告書	6
4	会下ノ谷遺跡試掘調査報告書	10
II	文化財保護・管理	14
1	国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業	14
2	「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更	39
3	ウミガメ保護活動のまとめ	41
4	国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業	42
5	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更	45
6	市指定有形文化財「本居宣長自賛(掛軸)」の指定	47
7	文化財看板の修繕及び新設工事	48
8	文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化業務委託	49
9	文化財防火デー	50
10	御前崎市文化財保護審議会	51
III	文化財活用啓発活動	52
1	埋蔵文化財出張授業	52
2	指定文化財出張授業	54
3	御前崎市文化財講座	55
4	市内イベントにおける文化財ブースの開設	57
5	写真資料の利用	59
6	歴史民俗資料等の貸出	61
7	歴史民俗資料等の特別利用許可	62
IV	指定文化財一覧	63
V	文化財関係刊行図書一覧	64

# 御前崎市の地形と調査・工事立会遺跡等の位置



## 埋蔵文化財試掘調査・工事立会箇所一覧

- 1 道田遺跡      2 横舟遺跡      3 上ノ城遺跡      4 中田西ノ谷遺跡      5 会下ノ谷遺跡

# I 埋蔵文化財調査

## 1 市内遺跡試掘調査・工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、個人専用住宅新築工事・電柱新設工事等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、試掘調査・工事立会を実施した。

試掘調査は、現地を詳細に踏査するとともに試掘坑を設定し、遺物や遺構の所在の有無や土層断面などを確認した。今年度は下表に示す、3件の試掘調査と4件の工事立会を実施した。

第1表 令和4年度 市内遺跡試掘調査・工事立会・慎重工事実施遺跡等一覧表

No.	遺跡等名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要
1	上ノ城遺跡	御前崎市 白羽字上の 城	電柱新設工 事	中部電力 パワーグリッ ド株式会社掛 川営業所	R4. 4. 13	工事立会0.36㎡ 遺構・遺物未発見
2	上ノ城遺跡	御前崎市 白羽字上の 城	電柱支線ア ンカーの改 修工事	中部電力 パワーグリッ ド株式会社掛 川営業所	R4. 4. 13	工事立会0.65㎡ 遺構・遺物未発見
3	道田遺跡	御前崎市 白羽字道田	個人専用住 宅新築工事	個人	R4. 6. 17	試掘調査 4㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見
4	道田遺跡	御前崎市 白羽字道田	個人専用住 宅新築工事	個人	R4. 7. 20	工事立会266.07㎡ 遺構・遺物未発見
5	中田西ノ谷遺跡	御前崎市 比木中田西 ノ谷	電柱・補助 柱新設工事	中部電力 パワーグリッ ド株式会社掛 川営業所	R4. 9. 1～ R5. 3. 31	慎重工事0.56㎡
6	横舟遺跡	御前崎市上 朝比奈字雨 垂	個人専用住 宅新築工事	個人	R4. 10. 28	試掘調査 4㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見
7	横舟遺跡	御前崎市上 朝比奈字雨 垂	個人専用住 宅新築工事	個人	R4. 12. 21	工事立会266.07㎡ 遺構・遺物未発見
8	会下ノ谷遺跡	御前崎市比 木字会下ノ 谷	個人専用住 宅新築工事	個人	R5. 3. 28	試掘調査 4㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見

## 2 道田遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市白羽字道田  
調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 4 m<sup>2</sup>(試掘坑 2 箇所)  
確認調査期間 令和 4 年 6 月 17 日  
調査目的 個人専用住宅新築工事に  
伴う試掘調査



第 1 図 遺跡の位置 (1/25,000)

### (1) 調査に至る経緯

令和 4 年 5 月 17 日付で「文化財の所在の有無及びその取り扱いについて」の照会があった。それに基づき、当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、道田遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵内に所在していることが判明した。

道田遺跡は、この地域では比較的大規模な遺跡で、昭和 39 年頃に白羽字道田の台地の裾から平地にかけての水田から遺物が採集されていることから、平成 9 年 3 月に刊行された『御前崎町史 通史編』で弥生・古墳・古代の遺物散布地として記載されている。

道田遺跡については、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず当該地周辺の遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断され、令和 4 年 5 月 25 日付御教社第 161 号で「文化財の所在の有無及びその取り扱いについて」回答した。

令和 4 年 5 月 17 日付で「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」とともに、土地所有者と土地占有者より「発掘調査承諾書」の提出があったことから、令和 4 年 6 月 17 日付御教社第 261 号で、御前崎市教育委員会教育長 河原崎全より静岡県知事宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和 4 年 6 月 17 日に道田遺跡内の個人専用住宅新築工事予定地に約 1.4m×2.8m の試掘坑を 1 箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

### (2) 調査概要

#### ① 調査方法

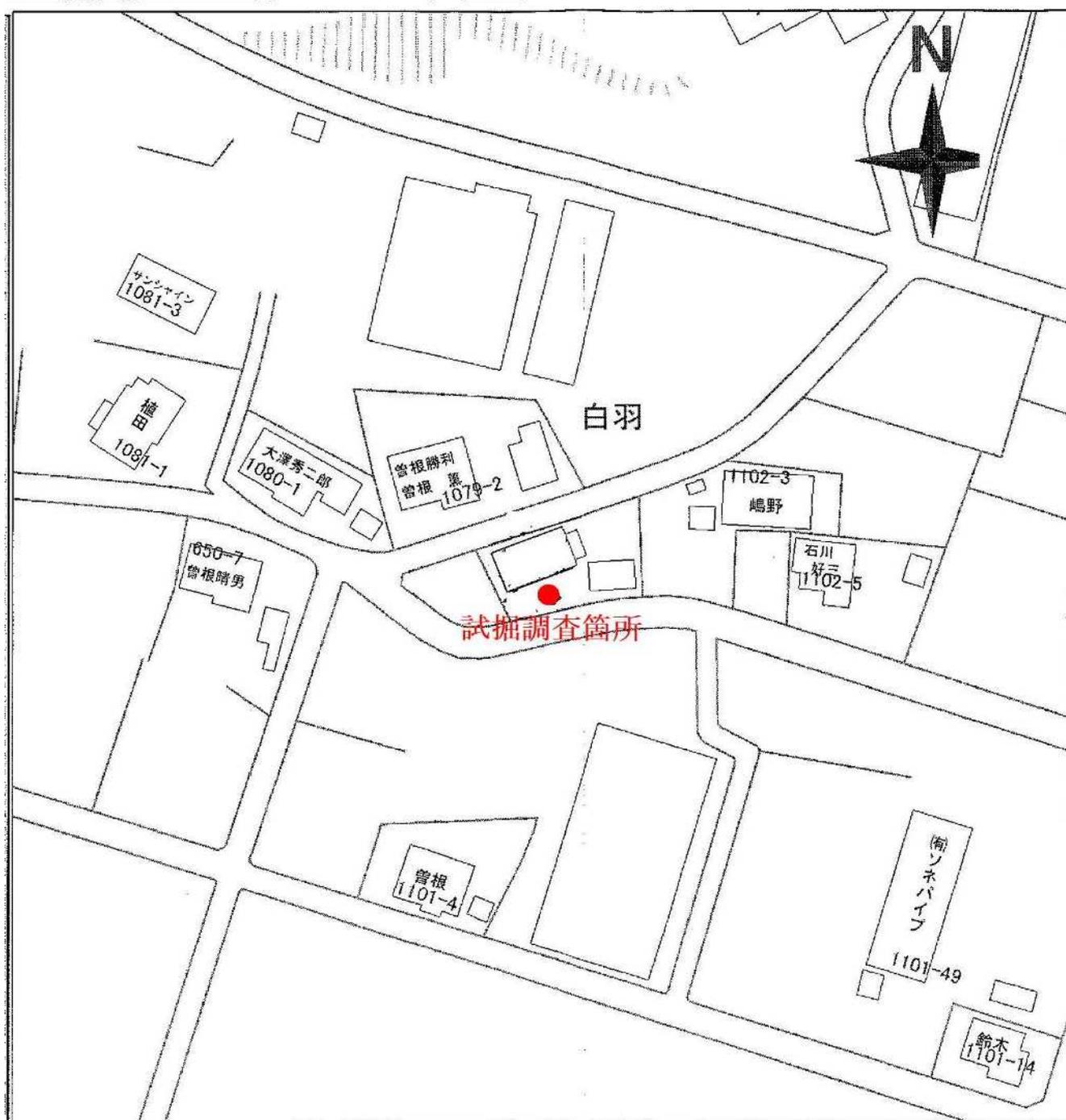
試掘調査は、個人専用住宅新築工事予定地の南側に 1 箇所試掘坑(約 1.4m×2.8m)を設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホウ)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

### (3) まとめ

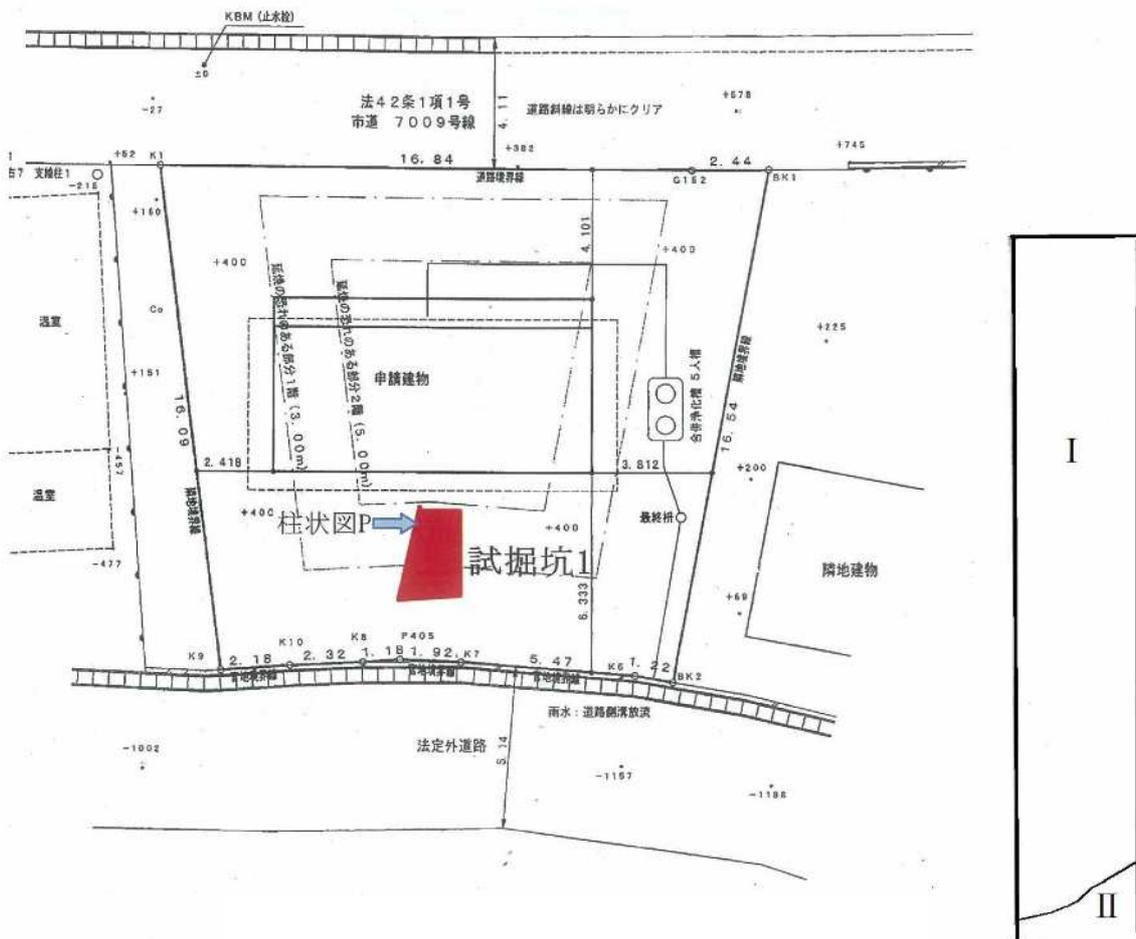
今回の試掘調査の結果、試掘坑を 2.28m 掘削したが遺物が出土せず、遺物包含層や遺構は検出されなかった。土層としては、傾斜地にⅡ層の砂層の上に盛土をしていることが判明した。



第2図 道田遺跡試掘坑位置図

土層説明

- 1 褐色土層(盛土) コンクリートブロックが出土した盛土層。
- 2 白色砂層 自然堆積した1mm以下の砂粒で構成される砂層で、北側の丘陵側が高く、南側の海に向かって傾斜している。



土層柱状図  
S=1/20

第3図 道田遺跡試掘調査試掘坑配置図



1 試掘坑前風景



2 重機による試掘坑1の掘削風景



3 試掘坑1完掘状況



4 試掘坑1西壁の土層断面の計測状況



5 試掘坑1西壁の土層断面

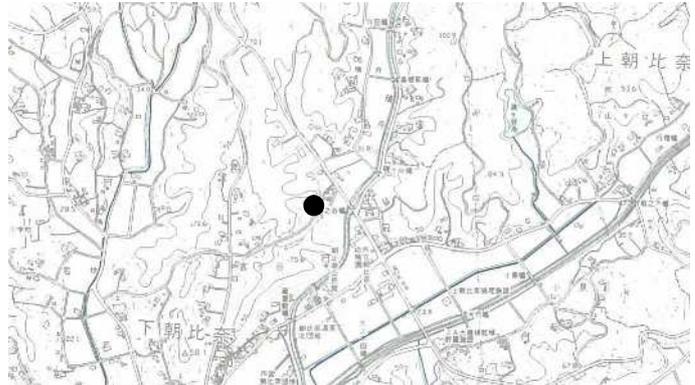


6 試掘坑1の埋め戻し風景

写真1 令和4年度 道田遺跡試掘調査

### 3 横舟遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市上朝比奈字雨垂  
調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 4 m<sup>2</sup>(試掘坑 2 箇所)  
確認調査期間 令和 4 年 10 月 28 日  
調査目的 個人専用住宅新築工事に  
伴う試掘調査



第 4 図 遺跡の位置 (1/25,000)

#### (1) 調査に至る経緯

令和 4 年 10 月 25 日付で「文化財の所在の有無及びにその取り扱いについて」の照会があった。それに基づき、当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、横舟遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵内に所在していることが判明した。

横舟遺跡からは山茶碗の碗や小皿等の中世の陶器類が採集されており、平成 18 年 3 月に刊行された『浜岡町史 資料編(考古)』で鎌倉時代の遺物散布地として記載されている。

横舟遺跡については、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず当該地周辺の遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断され、令和 4 年 10 月 28 日付御教社第 550 号で「文化財の所在の有無及びにその取り扱いについて」回答した。

令和 4 年 10 月 25 日付で「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」とともに、土地所有者と土地占有者より「発掘調査承諾書」の提出があったことから、令和 4 年 10 月 28 日付御教社第 575 号で、御前崎市教育委員会教育長 河原崎全より静岡県知事宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和 4 年 10 月 28 日に横舟遺跡内の個人専用住宅新築工事予定地に約 2 m × 2 m の試掘坑を 1 箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

#### (2) 調査概要

##### ① 調査方法

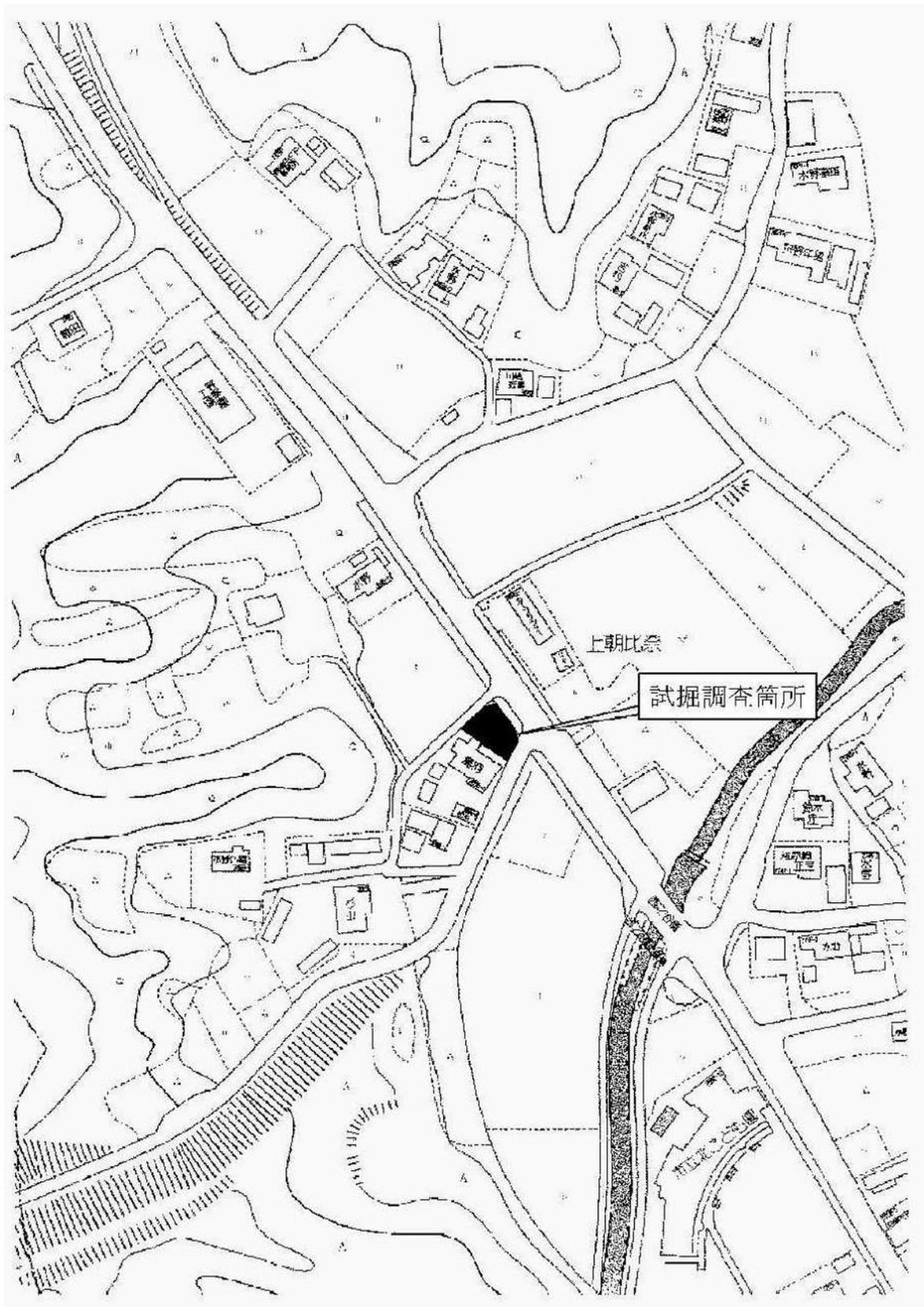
試掘調査は、個人専用住宅新築工事予定地の南側に 1 箇所試掘坑(約 2 m × 2 m)を設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホウ)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した。

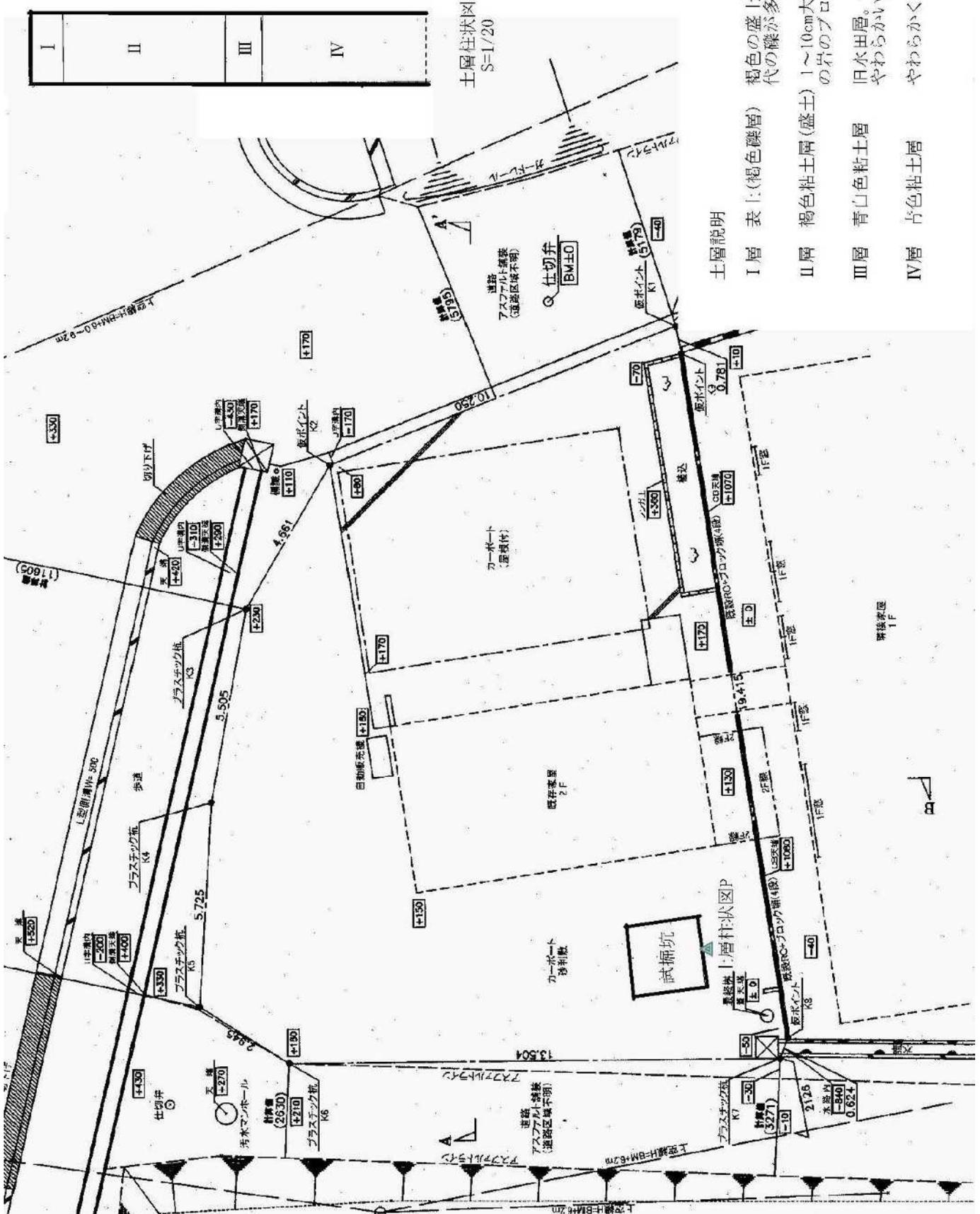
その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

#### (3) まとめ

今回の試掘調査の結果、試掘坑は 1.5m 掘削したが遺物が出土せず、遺物包含層や遺構は検出されなかった。土層としては、旧水田面と考えられるⅢ層の姓白色粘土層の上に盛土をしていることが判明した。



第5図 横舟遺跡試掘調査箇所位置図



第6図 横舟遺跡試掘坑配置図



1 試掘坑前風景



2 重機による試掘坑1の掘削風景



3 試掘坑1完掘状況



4 試掘坑1西壁の土層断面の計測状況



5 試掘坑1西壁の土層断面

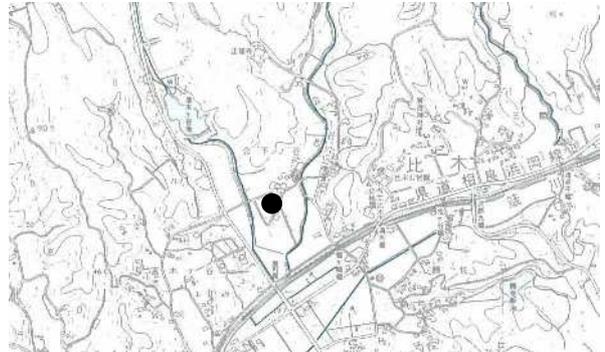


6 試掘坑1の埋め戻し風景

写真2 令和4年度 横舟遺跡試掘調査

## 4 会下ノ谷遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市比木字会下ノ谷  
調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 4 m<sup>2</sup>(試掘坑 2 箇所)  
確認調査期間 令和 5 年 3 月 28 日  
調査目的 個人専用住宅新築工事に  
伴う試掘調査



第 7 図 遺跡の位置 (1/25,000)

### (1) 調査に至る経緯

令和 5 年 3 月 7 日付で「文化財の所在の有無及びにその取り扱いについて」の照会があった。それに基づき、当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、会下ノ谷遺跡の周知の埋蔵文化財包蔵内に所在していることが判明した。

会下ノ谷遺跡は、この地域では比較的大規模な遺跡で、昭和 44 年(1969)頃に行われた箴川の改修工事の時に 11 世紀頃の須恵器の灰釉広口瓶が採集されていることや、この遺跡が比木の中央部を占めていることなどから、比木の最有力集落だったと想定されると平成 9 年 3 月に刊行された「御前崎町史 通史編」に記載されている。

会下ノ谷遺跡については、今までに埋蔵文化財を対象とした発掘調査や試掘調査などが実施されておらず当該地周辺の遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断され、令和 5 年 3 月 16 日付御教社第 781 号で「文化財の所在の有無及びにその取り扱いについて」回答した。

令和 5 年 3 月 7 日付で「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」とともに、土地所有者と土地占有者より「発掘調査承諾書」の提出があったことから、令和 5 年 3 月 日付御教社第 839 号で、御前崎市教育委員会教育長職務代理者竹田和世より静岡県知事宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和 5 年 3 月 28 日に会下ノ谷遺跡内の個人専用住宅新築工事予定地に約 2 m × 2 m の試掘坑を 1 箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

### (2) 調査概要

#### ① 調査方法

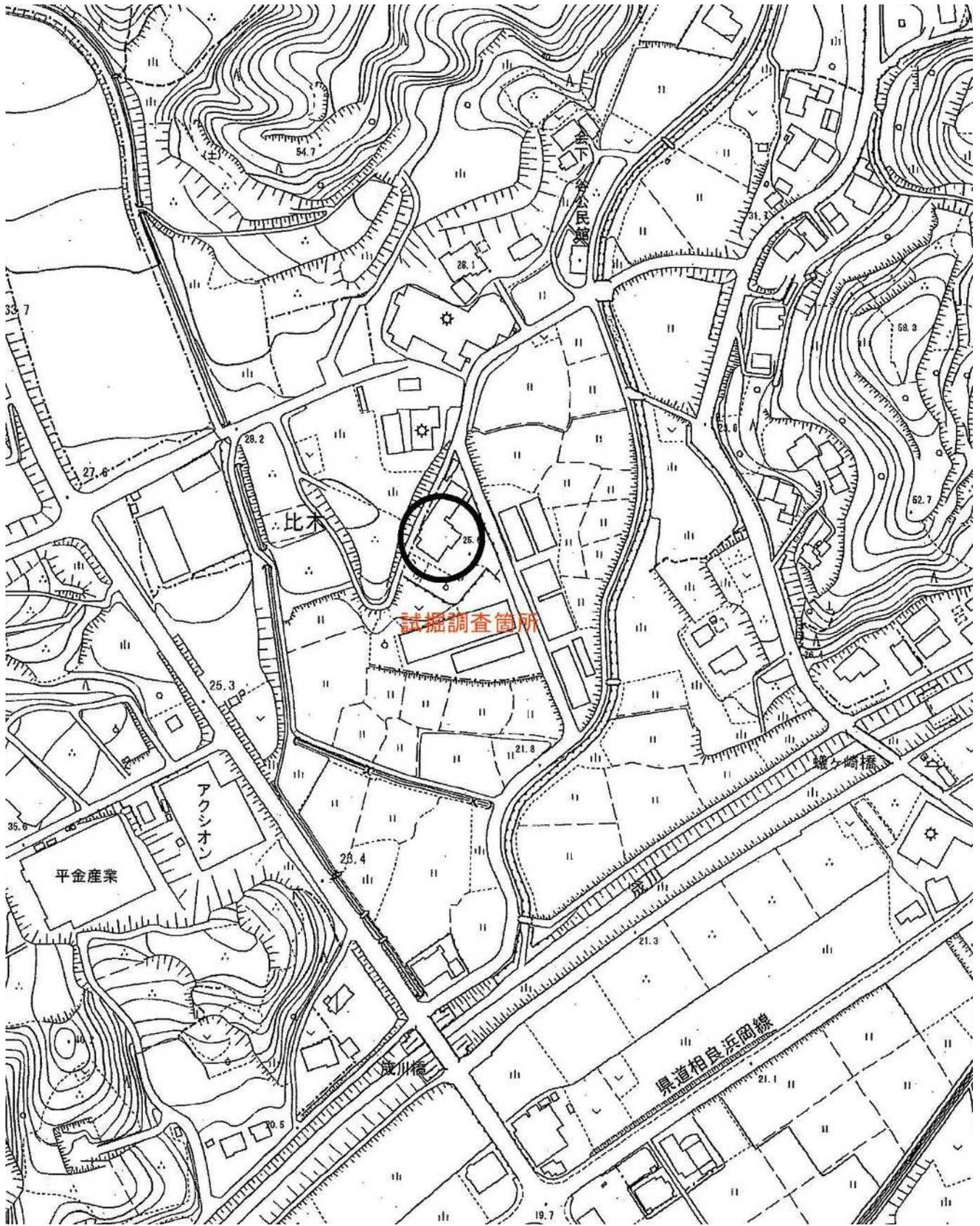
試掘調査は、個人専用住宅新築工事予定地の南側に 1 箇所試掘坑(約 2 m × 2 m)を設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホウ)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した。

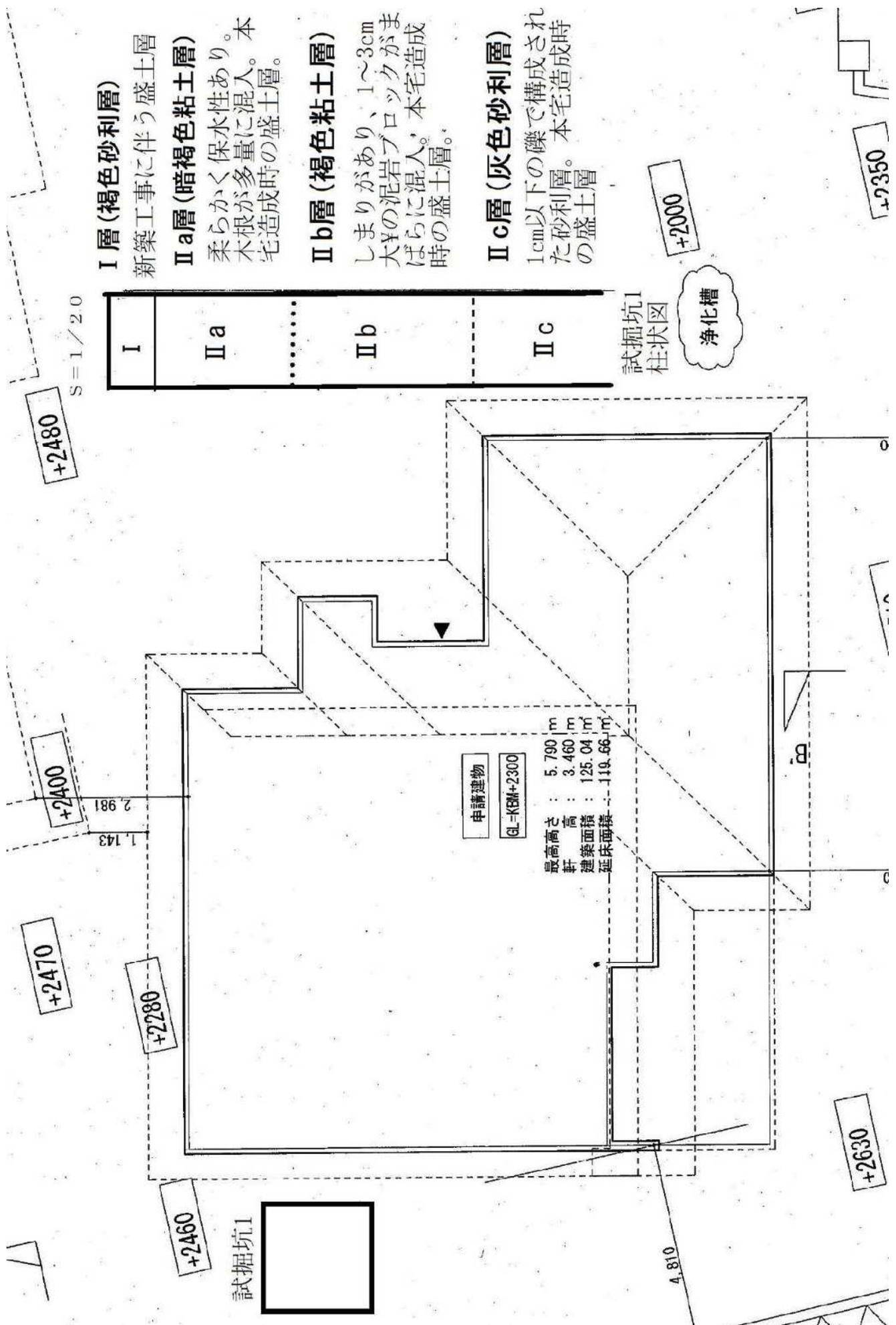
その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

### (3) まとめ

今回の試掘調査の結果、試掘坑は 2.0m 掘削したが遺物が出土せず、遺物包含層や遺構は検出されなかった。土層としてはすべて盛土で、母屋の建設時に裏山を造成して宅地にしたと考えられる。



第8図 会下ノ谷遺跡試掘調査箇所位置図



**I 層 (褐色砂利層)**  
新築工事に伴う盛土層

**II a 層 (暗褐色粘土層)**  
柔らかく保水性あり。本木根が多量に混入。本宅造成時の盛土層。

**II b 層 (褐色粘土層)**  
しまりがあり、1~3cm大の泥岩ブロックがまばらに混入。本宅造成時の盛土層。

**II c 層 (灰色砂利層)**  
1cm以下の礫で構成された砂利層。本宅造成時の盛土層

第9図 会下ノ谷遺跡試掘坑配置図



1 試掘坑前風景



2 重機による試掘坑1の掘削風景



3 試掘坑1完掘状況



4 試掘坑1北壁の土層断面の計測状況



5 試掘坑1西壁の土層断面



6 試掘坑1の埋め戻し風景

写真3 令和4年度 会下ノ谷遺跡試掘調査

## II 文化財保護・管理

### 1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

#### (1) 調査報告

##### ① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。御前崎地区、浜岡地区の海岸についてもアカウミガメの上陸・産卵が確認されているが、今年度も、上陸の痕跡のみで、産卵には至っていないケースが多くみられた。

令和4年度においては、アカウミガメの上陸・産卵頭、産卵個数及びふ化頭数は昨年よりも増加し、例年の統計を見比べると回復傾向にあると考えられる。ふ化率は昨年よりも上回った。

ウミガメの上陸頭数や産卵個数の増減の原因はアカウミガメの生態が解明されていない現時点では、明確な回答が出ない状態である。ウミガメの産卵周期にかかわる現象であれば、再度増加に転ずることも考えられるため、その推移を見守るとともに、産卵場所となる海岸の保全に努めたい。

##### ② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された8名(御前崎海岸4名・浜岡海岸4名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(曾根 敏治)
第2区	元	根	から	芹	沢 (横山 俊明)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(横山 俊明)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(澤部 春市)
第5区	尾	高	から	箆	川 (高田 正義)
浜1区	新野川	から	本町・中町の境		(福田 伸次)
浜2区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(渡辺 元治)
浜3区	七つ山・塩原の境	から	塩原・合戸の境		(早馬 彰夫)
浜4区	塩原・合戸の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

##### ③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視

- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視
- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

#### ④ 令和4年度ウミガメ保護監視員及び事務局の主な活動記録

（全体活動）

- ・ウミガメ保護監視員による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（7月1日開始）

<4月>

- 20日 ウミガメ保護監視員会議
- 27日 ふ化場天地返し

<5月>

- 9日 子亀供養祭
- 15日 ウミガメ保護活動開始  
ウミガメ初上陸【御前崎第5区】
- 18日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）
- 24日 ウミガメ初産卵【御前崎第2～3区】

<6月>

- 16日 子ガメ放流会（御前崎小学校行事）

<7月>

- 17日～24日 ウミガメ産卵観察会（上陸産卵なし）

<8月>

- 3日 ウミガメ初ふ化【5/25 御前崎第2～3区 産卵 10頭】

子ガメ放流観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

<9月>

- 14日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校）

<11月>

- 1日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

<3月>

- 10日 視察研修（視察先：幼魚水族館、あわしまマリンパーク）

#### ⑤ 上陸・産卵・ふ化状況

令和4年度における御前崎市のアカウミガメ上陸・産卵・ふ化状況については、集計表を掲載する。



①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	

- ①5/9 子亀供養祭      ②5/24 初産卵  
 ③6/16 子ガメ放流会      ④6/16 子ガメ放流会  
 ⑤7/17~24 ウミガメ産卵観察会  
 ⑥8/3 ウミガメ初ふ化  
 ⑦9/14 子ガメ受け入れ式

写真4 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子

第10図

ウミガメ巡視区域図 (御前崎地区)



○ : 上陸頭数 ● : 産卵頭数

第2表

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15													1			1		
16													1			1		
17																		
18																		
19				1												1		
20													1			1		
21																		
22																		
23																		
24							1	1	105							1	1	105
25																		
26																		
27																		
28																		
29	1															1		
30																		
31				1					1							2		
月計	1			2			1	1	105	1			3			8	1	105
総計	1			2			1	1	105	1			3			8	1	105

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第3表

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計			
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数	
1																			
2				1												1			
3									1	1	110					1	1	110	
4	1	1	167													1	1	167	
5																			
6																			
7																			
8																			
9	1								1							2			
10	1	1	113													1	1	113	
11							1		1	1	76					2	1	76	
12													1			1			
13									1	1	102					1	1	102	
14	1	1	110													1	1	110	
15																			
16				1	1	125										1	1	125	
17				1					2	1	113					3	1	113	
18									1	1	140	2	2	291		3	3	431	
19																			
20													1			1			
21																			
22																			
23																			
24				1	1	99			1	1	98					2	2	197	
25																			
26	1															1			
27	2	2	257													2	2	257	
28									1							1			
29																			
30	1	1	112	1	1	59			1	1	138					3	3	309	
月計	8	6	759	5	3	283	1		10	7	777	4	2	291		28	18	2,110	
総計	9	6	759	7	3	283	2	1	105	11	7	777	7	2	291		36	19	2,215

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第4表  
令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	1														1			
2	1														1			
3	1	1	157												1	1	157	
4									1	1	103				1	1	103	
5				1	1	103									1	1	103	
6	1								1						2			
7	1								2	1	132				3	1	132	
8																		
9	1														1			
10													1		1			
11	2	1	108												2	1	108	
12	2	1	132												2	1	132	
13	1														1			
14													1	1	99	1	1	99
15	1	1	142												1	1	142	
16									1	1	152				1	1	152	
17	1														1			
18	1														1			
19	1														1			
20													1	1	120	1	1	120
21																		
22																		
23									2	1	112				2	1	112	
24									1						1			
25						1									1			
26	1	1	125												1	1	125	
27	1														1			
28	1	1	104												1	1	104	
29				1											1			
30																		
31	1	1	142	1											2	1	142	
月計	19	7	910	3	1	103	1		8	4	499	3	2	219	34	14	1,731	
総計	28	13	1,669	10	4	386	3	1	105	19	11	1,276	10	4	510	70	33	3,946

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1	1			1	1	95				1	1	127				3	2	222
2										1						1		
3	1	1	154				1			1						3	1	154
4							1									1		
5				1			1			1	1	147				3	1	147
6													1	1	126	1	1	126
7	1															1		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	3	1	154	2	1	95	3			4	2	274	1	1	126	13	5	649
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総計	31	14	1,823	12	5	481	6	1	105	23	13	1,550	11	5	636	83	38	4,595

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	5月24日	芹沢	105	8月3日	10		71	9.52%	第4区:朝
				計	10	0			
2	6月3日	小僧山	110	8月11日	53		69	52.72%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				8月17日	1		75		
				8月23日	1		81		
				8月26日	3		84		
				計	58	0			
3	6月4日	海藻場	167	8月10日	91		67	64.07%	第3区:
				8月13日	1		70		
				8月14日	12		71		
				8月17日	3		74		
				計	107	0			
4	6月10日	海藻場	113	8月13日	1		64	11.50%	第1区:朝 第1区:朝
				8月14日	12		65		
				計	13	0			
5	6月11日	尾高	76					0.00%	第1区:朝
				計	0	0			
6	6月13日	小僧山	102	8月15日	82		63	80.39%	第1区:夜
				計	82	0			
7	6月14日	通り	110	8月19日	35		87	31.81%	第4区:朝
				計	35	0			
8	6月16日	灯台下	125	8月19日	48		64	40.80%	第1区:朝 第1区:朝
				8月21日	3		66		
				計	51	0			
9	6月17日	尾高	113	8月15日	71		59	62.83%	第3区:
				計	71	0			
10	6月18日	尾高	140	8月15日	83	3	58	92.14%	第1区:朝 第1区:朝
				8月18日	46		61		
				計	129	3			
11	6月18日	尾高西	140					0.00%	第1区:朝
				計	0	0			
12	6月18日	中西川	151					0.00%	第1区:夜
				計	0	0			
13	6月24日	尾高東	98					0.00%	第4区:朝
				計	0	0			
14	6月24日	灯台下	99	8月22日	80		59	89.89%	第1区:朝 第1区:朝
				8月25日	9		62		
				計	89	0			
15	6月27日	通り	108					0.00%	第3区:
				計	0	0			
16	6月27日	通り	149	8月22日	135		56	90.60%	第1区:朝
				計	135	0			
17	6月30日	アカガネ	112	8月24日	102		55	91.96%	第1区:朝
				9月7日	1				
				計	103	0			
18	6月30日	灯台下	59	8月23日	47		54	79.66%	第1区:夜
				計	47	0			
19	6月30日	小僧山	138	8月11日			42	0.00%	第1区:朝
				計	0	0			
20	7月3日	アカガネ	157	8月27日	121		55		第3区:

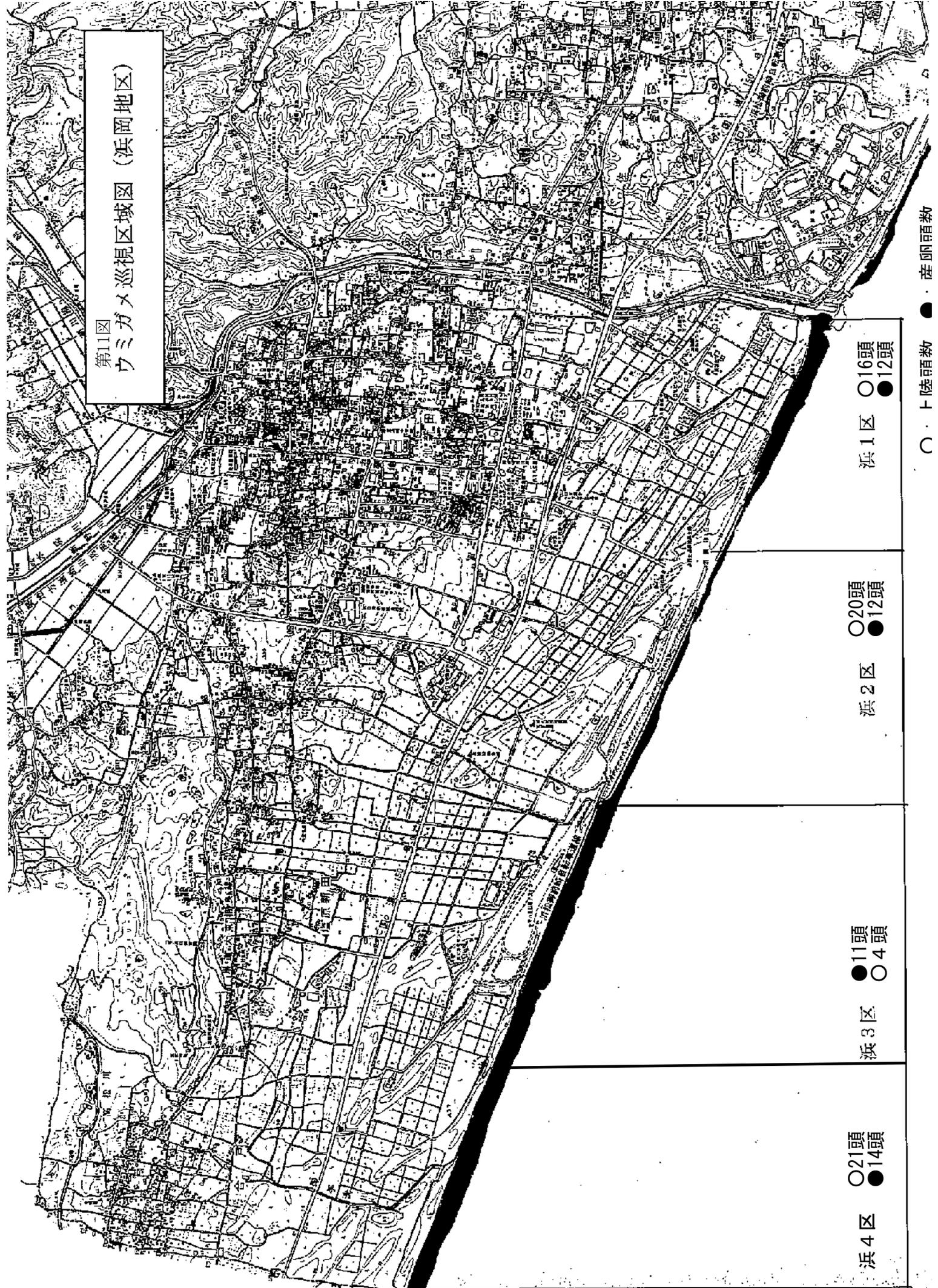
No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
				9月2日	1		61		
				計	122	0		77.70%	
21	7月4日	小僧山	103	8月30日	90		57		第1区:
				計	90	0		87.37%	
22	7月5日	灯台下	103	9月2日	1		424		第1区:朝
				計	1	0		0.97%	
23	7月7日	小僧山	132	9月2日	71				第3区:
				計	71	0		53.78%	
24	7月11日	通り	108	9月2日	69		53		第1区:
				計	69	0		63.88%	
25	7月12日	海藻場	132	9月7日	92		57		第1区:朝
				計	92	0		69.69%	
26	7月14日	しるたれ	99	9月8日	83		56		第3区:
				計	83	0		83.83%	
27	7月15日	海藻場	142	9月6日	122		53		第1区:
				計	122	0		85.91%	
28	7月16日	薄原	152						第1区:朝
				計	0	0		0.00%	
29	7月20日	中西川	120						第3区:
				計	0	0		0.00%	
30	7月23日	尾高	112	9月15日	51		54		第1区:
				計	51	0		45.53%	
31	7月26日	海藻場	125	9月15日	88		51		第3区:
				9月16日	1		52		
				計	89	0		71.20%	
32	7月28日	海藻場	104	9月16日	77		50		第3区:
				計	77	0		74.03%	
33	7月31日	海藻場	142	9月22日	83		53		第1区:
				9月23日	2	1	54		
				9月26日	1		57		
				計	86	1		60.56%	
34	8月1日	灯台下	95						第3区:
				計	0	0		0.00%	
35	8月1日	尾高	127						第1区:
				計	0	0		0.00%	
36	8月3日	西ビーチ	154	9月27日	98		55		第3区:
				計	98	0		63.63%	
37	8月5日	小僧山	147						第1区:
				計	0	0		0.00%	
38	8月6日	尾高西	126	10月2日	74		57		第3区:
				計	74	0		58.73%	
	※								
	合計		4,595		2,055	4			
	平均						61.14	44.72%	

放流頭数(御小20匹除く)	2,031
0%巣を除いたふ化率	63.37%

最大ふ化率	92.14%
最小ふ化率	0.97%

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
		ふ化率	巣数	比率	卵数	比率		区名	巣数
		90%以上	3	7.89%	401	8.73%		第1区	1
		80%以上90%未満	5	13.16%	545	11.86%		第2区	18
		70%以上80%未満	4	10.53%	445	9.68%		第3区	14
		60%以上70%未満	6	15.79%	816	17.76%		第4区	5
		50%以上60%未満	3	7.89%	368	8.01%		第5区	0
		40%以上50%未満	2	5.26%	237	5.16%		計	38
		30%以上40%未満	1	2.63%	110	2.39%			
		20%以上30%未満	0	0.00%	0	0.00%			
		10%以上20%未満	1	2.63%	113	2.46%			
		1%以上10%未満	2	5.26%	105	2.29%			
		0%	11	28.95%	1,352	29.42%			
		計	38	99.99%	4,492	97.76%			

第11図  
ウミガメ巡視区域図 (浜岡地区)



浜1区 ○16頭 ●12頭

浜2区 ○20頭 ●12頭

浜3区 ●11頭 ○4頭

浜4区 ○21頭 ●14頭

○ 陸頭数 ● 産卵頭数

第9表

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30				1									1		
31						1							1		
月計				1		1							2		
総計				1		1							2		

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第10表

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1									1	1	113		1	1	113
2															
3															
4															
5				1					1				2		
6															
7															
8															
9									1	1	104		1	1	104
10															
11															
12									1	1	122		1	1	122
13	1						1						2		
14	1			1	1	121							2	1	121
15									1				1		
16															
17	1	1	148						1	1	102		2	2	250
18															
19															
20							1						1		
21															
22															
23															
24	1												1		
25															
26							1	1	123				1	1	123
27				1	1	152							1	1	152
28							1						1		
29				1	1	146							1	1	146
30				1	1	96							1	1	96
月計	4	1	148	5	4	515	4	1	123	6	4	441	19	10	1,227
総計	4	1	148	6	4	515	5	1	123	6	4	441	21	10	1,227

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第11表

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1				1	1	123							1	1	123
2															
3										1	1	70			
4															
5	1	1	156	2			1						4	1	156
6				1						1	1	83			
7				2						2	2	214			
8	1	1	124										1	1	124
9															
10	1	1	125	1	1	125				1			3	2	250
11	1	1	148										1	1	148
12															
13	2	2	257							1			3	2	257
14															
15															
16										1	1	107			
17															
18				2	2	298							2	2	298
19	1	1	108							1			2	1	108
20	1	1	131	1	1	109							2	2	240
21										1	1	121			
22				1	1	120	1	1	134				2	2	254
23	1	1	87				1	1	114				2	2	201
24										1			1		
25	1	1	122	1	1	122							2	2	244
26	1									1	1	132			
27							1			2	2	227			
28	1	1	140										1	1	140
29															
30															
31															
月計	12	11	1,398	12	7	897	4	2	248	13	9	954	41	29	3,497
総計	16	12	1,546	18	11	1,412	9	3	371	19	13	1,395	62	39	4,724

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

令和4年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1				1	1	160	1			1					
2															
3							1	1	102				1	1	102
4				1									1		
5															
6										1	1	138	1	1	138
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
月計				2	1	160	2	1	102	2	1	138	3	2	240
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
月計															
総計	16	12	1,546	20	12	1,572	11	4	473	21	14	1,533	65	41	4,964

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	6月1日	合戸	113	8月11日	33		71	29.20%	第2区:朝
				計	33	0			
2	6月9日	合戸	104	8月11日	45		63	46.15%	第2区:朝 第2区:朝
				8月16日	2		68		
				8月17日	1		69		
				計	48	0			
3	6月12日	塩原	122	8月22日	32			26.22%	第1区:朝
				計	32	0			
4	6月14日	本町	121	8月17日	49		64	43.80%	第2区:朝
				8月21日	4		68		
				計	53	0			
5	6月17日	新野川東	148	8月20日	142		64	95.94%	第2区:朝
				計	142	0			
6	6月17日	塩原	102	8月26日	61		70	61.76%	第4区:朝 第4区:朝
				8月27日	1		71		
				8月30日	1		74		
				計	63	0			
7	6月26日	ヤマハ前	123	8月26日	90		61	76.42%	第3区:朝 第3区:朝 第3区:朝
				8月26日	1		61		
				8月27日	3		62		
				計	94	0			
8	6月27日	大山	152	8月21日	113		55	85.52%	第2区:朝 第2区:夜
				8月22日	5		56		
				8月23日	12		57		
				計	130	0			
9	6月29日	中町	146	8月28日	42		60	29.45%	第1区:朝
				8月31日	1		63		
				計	43	0			
10	6月30日	中町	96	8月20日	86		51	95.83%	第1区:朝
				8月25日	2		56		
				8月26日	3		57		
				8月31日	1		62		
				計	92	0			
11	7月1日	合戸	123	8月23日	97		53	80.48%	第4区:朝
				8月25日	2		55		
				計	99	0			
12	7月3日	合戸	70	8月23日	60		51	92.85%	第2区:
				8月25日	5		53		
				計	65	0			
13	7月5日	東町	156	8月27日	139		53	91.66%	第2区:夜 第2区:朝
				8月31日	4		57		
				計	143				
14	7月6日	塩原	83	8月30日	41		55	49.39%	第1区:夜
				計	41	0			
15	7月7日	合戸	92	8月30日	57		54	61.95%	第2区:朝
				計	57	0			
16	7月7日	塩原	122	8月29日	21		53	18.03%	第1区:朝
				9月4日	1		59		
				計	22	0			
17	7月8日	東町	124	8月30日	104		53	84.67%	第1区:
				9月2日	1		56		
				計	105	0			
18	7月10日	東町	125	8月31日	26		52		第1区:夜

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
				計	26	0		20.80%	
19	7月10日	本町	125	計	0	0		0.00%	第1区:
20	7月11日	東町	148	9月1日	87		52		第1区:夜
				計	87	0		70.73%	
21	7月13日	東町	128	9月3日	42		52		第1区:夜
				9月6日	1		55		第1区:夜
				計	43	0		33.59%	
22	7月13日	東町	129	9月2日	104		51		第1区:
				計	104	0		80.62%	
23	7月16日	合戸	107	計	0	0		0.00%	第1区:夜
24	7月18日	中町	160	9月6日	110		50		第1区:夜
				計	110	0		68.75%	
25	7月18日	本町	138	9月6日	57		50		第1区:
				9月7日	1		51		
				9月8日	4		52		
				計	62	0		44.92%	
26	7月19日	東町	108	9月7日	92		50		第1区:夜
				計	92	0		60.52%	
27	7月20日	東町	131	9月11日	112		53		第1区:
				計	112	0		85.49%	
28	7月20日	本町	109	9月8日	20		50		第1区:夜
				計	20	0		13.69%	
29	7月21日	塩原	121	9月10日	1		51		第1区:
				9月12日	4		53		
				計	5	0		4.13%	
30	7月22日	本町	120	9月8日	68		48		第1区:夜
				9月26日	1		66		
				計	69	0		57.50%	
31	7月22日	ヤマハ前	134	9月11日	21		51		第1区:
				9月13日	8		53		
				計	29	0		21.64%	
32	7月23日	東町	87	9月12日	78		51		第1区:夜
				計	78	0		51.31%	
33	7月23日	七ツ山	114	9月12日	83		51		第1区:
				9月18日	1		57		
				計	84	0		73.68%	
34	7月25日	東町	122	計	0	0		0.00%	第1区:夜
35	7月25日	本町	122	9月15日	48		52		第1区:
				計	48	0		39.34%	
36	7月26日	合戸	132	9月14日	78		50		第1区:夜
				計	78	0		59.09%	
37	7月27日	合戸	61	9月18日	2		53		第1区:
				9月20日	11		55		
				計	13	0		21.31%	
38	7月27日	塩原	166	9月14日	93		49		第1区:夜
				計	93	0		56.02%	
39	7月28日	東町	140	9月16日	77		50		第1区:夜
				計	77	0		55.00%	
40	8月1日	本町	160	9月26日	4		56		第1区:
				9月28日	19		58		

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
				計	23	0		14.37%	
41	8月3日	ヤマハ前	102						第1区:夜
				計	0	0		0.00%	
42	8月6日	塩原	138	9月30日	45		55		第1区:夜
				計	45	0		32.60%	
合計			5,124		2,560	0			
平均							51.05	49.96%	

放流頭数	2,560
0%巣を除いたふ化率	49.96%

最大ふ化率	95.94%
最小ふ化率	13.69%

ふ化率	巣数	比率	卵数	比率
90%以上	4	9.53%	244	4.76%
80%以上90%未満	5	11.90%	792	15.46%
70%以上80%未満	3	7.14%	246	4.80%
60%以上70%未満	4	9.52%	1,362	26.58%
50%以上60%未満	5	11.90%	152	2.97%
40%以上50%未満	4	9.52%	104	2.03%
30%以上40%未満	3	7.14%	107	2.09%
20%以上30%未満	6	14.29%	381	7.44%
10%以上20%未満	3	7.14%	288	5.62%
1%以上10%未満	1	2.38%	122	2.38%
0%	4	9.53%	1,707	33.32%
計	42	99.99%	5,505	107.45%

区名	巣数
第1区	0
第2区	10
第3区	29
第4区	3
計	42

第16表  
令和4年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
5月1日							
5月2日							
5月3日							
5月4日							
5月5日							
5月6日							
5月7日							
5月8日							
5月9日							
5月10日							
5月11日							
5月12日							
5月13日							
5月14日							
5月15日							
5月16日							
5月17日							
5月18日							
5月19日							
5月20日							
5月21日							
5月22日							
5月23日							
5月24日							
5月25日	21.8	22.2	22.3	22.2	18.7	18.8	21.7
5月26日	21.9	22.4	23.0	22.5	20.3	20.1	22.6
5月27日	21.4	21.7	22.2	21.6	20.5	20.4	21.8
5月28日	20.9	21.6	22.2	21.5	19.9	18.6	21.4
5月29日	21.0	21.8	22.4	21.9	17.5	18.6	21.9
5月30日	22.4	22.8	23.4	22.9	19.0	19.4	23.0
5月31日	22.9	23.3	24.3	23.4	18.9	19.7	23.5
平均	21.8	22.3	22.8	22.3	19.3	19.4	22.3

初産卵

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分間に計測。測定の高さは、45cm。

第17表  
令和4年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
6月1日	21.3	21.8	22.6	22.0	18.5	18.9	21.7
6月2日	21.5	21.9	22.4	21.9	19.3	19.0	22.0
6月3日	22.5	23.1	23.5	23.0	19.3	20.1	23.4
6月4日	23.7	24.2	25.0	23.9	21.0	22.1	24.3
6月5日	23.9	24.2	24.5	23.7	19.9	21.5	24.3
6月6日	22.9	23.4	24.4	23.6	18.7	19.0	23.7
6月7日	20.6	21.0	21.6	21.2	19.2	18.7	21.1
6月8日	21.7	22.4	23.1	22.2	18.1	18.4	22.4
6月9日	22.2	23.0	23.5	22.8	19.4	19.8	23.0
6月10日	22.9	23.7	24.5	23.5	20.9	21.9	23.7
6月11日	24.2	24.5	25.2	24.5	21.8	22.3	24.7
6月12日	22.4	22.9	23.4	22.8	19.9	20.1	22.9
6月13日	23.1	23.7	23.9	23.4	20.7	21.2	23.7
6月14日	22.5	22.9	23.1	23.1	19.0	19.2	23.1
6月15日	20.4	20.4	20.7	20.7	17.5	17.6	20.8
6月16日	20.6	20.6	21.4	21.0	20.3	20.4	21.0
6月17日	22.7	22.7	23.1	23.0	21.8	21.9	22.8
6月18日	23.6	23.7	23.7	23.6	22.5	22.8	23.7
6月19日	21.5	21.4	21.9	21.9	20.3	20.2	21.5
6月20日	23.5	23.6	23.7	23.5	22.8	22.7	23.6
6月21日	23.9	23.8	23.9	24.0	23.5	23.5	24.1
6月22日	22.2	22.3	22.7	22.5	21.5	21.5	22.5
6月23日	22.6	22.9	23.1	22.8	22.3	22.2	22.8
6月24日	25.8	25.6	25.5	25.6	24.5	24.6	25.8
6月25日	26.4	26.4	26.9	26.2	24.8	25.3	26.9
6月26日	25.5	25.8	26.0	25.8	23.8	23.8	26.0
6月27日	25.6	26.2	26.0	25.9	24.3	24.2	26.1
6月28日	26.5	26.6	26.8	26.4	25.3	25.6	26.5
6月29日	27.1	27.1	27.3	27.1	24.0	24.7	27.2
6月30日	26.7	27.1	27.5	27.4	24.4	24.4	27.5
平均	23.3	23.6	24.0	23.6	21.3	21.6	23.8

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分のに計測。測定のはさは、45cm。

第18表  
令和4年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
7月1日	28.3	28.3	28.6	28.5	26.0	26.0	28.1
7月2日	28.0	28.3	28.8	28.2	25.3	26.1	28.8
7月3日	28.9	29.6	29.8	29.4	26.9	27.3	29.6
7月4日	27.3	28.0	28.0	27.9	25.3	24.9	28.1
7月5日	25.3	26.3	26.2	26.0	23.5	23.7	26.1
7月6日	24.9	25.6	25.6	25.3	22.9	23.3	25.8
7月7日	26.6	26.6	27.6	26.8	25.4	25.5	27.3
7月8日	25.6	25.8	25.9	25.5	23.0	22.9	25.6
7月9日	24.4	24.7	24.9	24.3	22.9	23.0	24.8
7月10日	24.4	24.7	24.7	24.6	22.8	22.9	24.8
7月11日	25.9	26.2	26.1	25.7	23.7	24.0	26.5
7月12日	27.7	28.2	28.1	27.6	25.2	25.5	28.2
7月13日	26.6	27.0	26.9	26.7	24.6	24.9	26.9
7月14日	28.2	28.4	28.8	28.1	26.0	26.3	28.9
7月15日	26.9	27.2	27.1	26.8	24.3	24.8	27.5
7月16日	25.1	25.2	25.0	24.9	23.9	24.8	25.2
7月17日	25.0	24.9	25.3	24.9	22.4	23.2	25.3
7月18日	26.6	26.5	26.7	26.3	25.2	25.2	26.9
7月19日	26.9	27.9	27.7	27.2	26.9	27.0	
7月20日	25.4	25.7	25.7	25.6	25.2	25.0	25.8
7月21日	27.3	27.4	27.3	27.1	24.6	24.8	27.6
7月22日	28.0	28.0	28.1	27.8	26.2	26.3	28.3
7月23日	27.7	28.1	28.1	27.8	25.8	25.3	28.3
7月24日	27.1	27.7	27.8	27.6	23.8	24.4	28.2
7月25日	28.6	28.9	29.5	28.8	25.5	26.5	29.0
7月26日	29.4	29.9	30.1	29.8	26.4	27.1	30.4
7月27日	28.6	28.7	29.4	28.9	27.0	26.6	29.3
7月28日	28.7	29.3	29.7	29.3	26.1	27.3	29.5
7月29日	29.1	30.0	30.2	29.7	26.0	26.3	30.3
7月30日	30.3	30.4	30.7	30.2	27.2	27.3	30.6
7月31日	30.8	31.0	31.1	30.8	27.3	28.5	31.4
平均	27.2	27.6	27.7	27.4	25.1	25.4	27.8

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第19表  
令和4年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
8月1日	30.8	31.8	32.2	31.7	29.4	29.5	31.5
8月2日	30.7	31.5	31.8	31.3	26.9	28.2	31.5
8月3日	30.6	30.9	31.2	31.3	27.7	27.6	31.1
8月4日	31.2	31.8	31.9	31.2	29.3	29.2	31.8
8月5日	29.4	29.8	30.3	29.7	27.2	29.5	30.0
8月6日	29.5	30.2	30.3	30.0	25.9	27.2	30.2
8月7日	29.6	30.2	31.3	30.4	27.0	27.0	29.8
8月8日	29.5	29.9	30.3	30.2	26.9	27.0	29.7
8月9日	29.2	29.7	31.2	30.3	27.8	27.8	31.1
8月10日	30.4	31.2	31.4	30.7	27.4	28.3	30.8
8月11日	30.7	31.4	31.8	31.1	27.3	27.9	31.1
8月12日	29.5	29.7	30.5	29.9	26.4	26.5	29.1
8月13日	25.0	26.1	25.5	26.2	24.0	24.0	25.0
8月14日	27.2	25.6	27.0	27.0	25.3	25.3	26.8
8月15日	27.8	27.7	28.6	28.3	26.1	26.2	28.1
8月16日	29.2	29.6	29.8	29.4	27.5	27.9	29.4
8月17日	29.4	28.5	29.7	29.4	25.3	25.5	29.4
8月18日	29.4	29.8	30.6	29.8	28.1	28.3	30.0
8月19日	27.6	28.1	28.5	28.1	23.8	24.0	28.3
8月20日	28.8	28.9	29.7	29.4	25.4	26.1	29.1
8月21日	28.2	28.6	28.9	28.5	26.7	26.7	28.2
8月22日	27.7	28.0	28.5	28.1	26.3	26.1	27.9
8月23日	29.3	29.2	30.1	29.6	26.9	26.9	28.9
8月24日	28.6	29.3	29.6	29.1	27.1	27.1	28.9
8月25日	28.0	28.8	29.2	29.0	25.6	25.2	29.3
8月26日	28.1	28.8	28.9	28.7	26.1	26.1	28.5
8月27日	28.7	29.4	29.6	29.4	26.7	26.5	29.2
8月28日	30.1	29.1	30.1	29.8	25.5	25.9	29.3
8月29日	27.0	27.6	27.3	27.3	24.7	24.6	27.3
8月30日	26.5	26.5	27.0	27.1	24.3	24.1	26.8
8月31日	29.1	29.0	29.3	28.7	26.5	26.6	28.3
平均	28.9	29.2	29.7	29.4	26.5	26.7	29.2

初ふ化

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第20表  
令和4年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
9月1日	29.3	29.7	29.6	29.7	29.1	28.3	29.5
9月2日	27.3	27.9	27.9	28.1	25.8	25.6	27.7
9月3日	27.6	27.4	27.4	27.2	24.3	24.8	27.3
9月4日	28.3	28.1	28.7	28.6	26.1	26.1	28.4
9月5日	29.0	29.8	30.0	29.3	26.1	26.7	29.1
9月6日	28.5	28.9	28.8	28.7	26.6	26.4	28.4
9月7日	29.5	30.1	30.0	29.9	28.1	28.1	29.7
9月8日	27.9	28.1	28.7	28.3	24.2	24.3	27.4
9月9日	28.5	28.9	29.0	28.0	27.0	28.0	29.3
9月10日	27.9	27.9	27.8	27.2	25.8	25.8	28.0
9月11日	28.6	28.5	28.6	28.2	24.9	25.8	28.4
9月12日	28.7	28.5	28.6	28.6	25.7	25.4	28.4
9月13日	30.1	29.4	30.4	29.7	26.6	27.8	29.9
9月14日	28.8	29.1	29.5	29.3	26.6	26.6	28.4
9月15日	29.3	29.7	29.6	29.1	25.8	26.7	29.4
9月16日					25.6	25.6	22.8
9月17日	28.1	29.3	29.9	29.5	26.5	26.6	28.0
9月18日	26.6	27.4	27.4	27.6	25.7	25.7	27.3
9月19日	28.3	28.2	28.4	28.2	27.4	26.9	28.3
9月20日	27.8	27.8	28.0	28.4	26.1	26.2	27.8
9月21日	24.8	25.9	26.7	26.3	21.6	21.8	25.6
9月22日	23.1	23.6	23.5	23.7	22.1	22.0	23.4
9月23日	25.3	25.3	25.1	25.3	22.9	22.9	24.7
9月24日	25.9	26.1	26.1	26.0	24.1	24.2	25.4
9月25日	26.0	26.3	26.1	25.3	21.0	25.1	24.5
9月26日	24.3	25.1	25.1	25.6	21.8	21.8	25.6
9月27日	26.5	26.3	26.8	26.3	23.4	23.8	26.3
9月28日	26.7	26.5	26.6	26.8	23.7	23.6	26.3
9月29日	25.4	26.7	26.8	26.4	23.6	23.3	26.0
9月30日	22.5	22.6	23.0	23.2	21.7	21.3	23.2
平均	27.3	27.6	27.7	27.5	25.0	25.2	27.2

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さ

第21表  
令和4年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
10月1日	24.3	25.2	24.7	24.7	22.1	21.8	24.8
10月2日	24.9	25.4	26.2	25.6	22.1	22.0	24.6
10月3日	25.4	25.6	25.6	25.4	23.5	23.9	25.5
10月4日	24.5	24.8	25.1	24.4	22.6	22.3	25.4
10月5日	27.0	27.4	27.1	26.8	25.6	25.5	25.5
10月6日	23.7	23.8	23.9	23.9	19.4	19.3	23.4
10月7日	22.4	21.4	22.0	22.7	17.6	17.9	22.2
10月8日	17.9	18.3	18.1	18.8	16.6	16.4	18.2
10月9日	21.3	21.7	21.7	21.6	20.2	19.5	21.7
10月10日	22.2	22.3	23.0	22.4	20.1	20.7	22.0
10月11日	20.9	21.2	21.3	21.1	18.0	17.6	20.9
10月12日	21.7	21.4	21.6	21.6	20.8	20.7	21.9
10月13日	21.4	21.6	21.8	21.6	19.7	19.8	21.4
10月14日	20.8	20.7	20.7	20.9	19.9	19.8	20.7
10月15日	21.0	21.4	21.6	21.7	20.1	20.0	20.8
10月16日	22.3	23.2	22.7	22.6	21.6	21.5	23.0
10月17日	24.0	25.1	24.9	24.5	22.5	22.4	24.3
10月18日	23.0	23.1	23.5	23.0	19.7	18.6	22.0
10月19日	20.2	20.6	20.6	21.2	18.4	18.3	20.9
10月20日	20.4	20.3	20.3	20.4	17.7	17.6	20.2
10月21日	20.3	20.6	20.4	20.4	16.6	16.9	20.4
10月22日	21.7	21.0	21.3	20.8	18.4	18.4	21.4
10月23日	22.2	21.8	22.0	22.0	19.0	19.2	21.9
10月24日	17.2	19.6	19.5	19.7	15.6	15.8	19.5
10月25日	18.8	19.6	19.5	19.1	15.3	16.1	19.7
10月26日	18.0	18.1	18.3	18.3	13.1	12.7	17.4
10月27日	17.9	18.0	17.6	17.7	16.4	16.4	17.9
10月28日	17.4	18.2	19.1	18.4	16.4	16.3	18.5
10月29日	18.4	18.3	18.8	18.5	15.6	15.7	18.4
10月30日	19.5	19.4	19.3	19.7	18.0	17.9	19.5
10月31日	20.3	19.4	20.2	20.4	17.5	17.6	19.7
平均	21.3	21.6	21.7	21.6	19.0	19.0	21.4

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

## 2 「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更

### (1) 御前崎小学校短期育成アカウミガメ(子ガメ)への標識の装着

現状変更箇所の地番 御前崎市立御前崎小学校  
 許可申請者の名称 個人  
 現状変更箇所の所在地 御前崎市御前崎 3556 番地  
 着手及び終了の時期 令和4年5月25日から  
 令和4年6月16日



第12図 御前崎小学校位置図(1/25,000)

#### ① 現状変更等の内容等及び実施の方法

##### A 目的

アカウミガメは広大な海洋で生活している動物である。近年の科学技術の進歩により生活史は少しずつ解明されてきているが、彼らの海洋での生活は未知な部分が多く、解明されていないことが多くある。静岡県御前崎市から愛知県田原市に広がる遠州灘はアカウミガメの大きな繁殖場の一つで、アカウミガメの産卵生態に関する知見は増えてきているが、ふ化幼体や亜生体に関する知見は非常に少ない。アカウミガメを保全していくためには、生物学的特性を知る必要がある。本現状変更は、アカウミガメの保全に関する基礎的研究のため、アカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することを目的とする。

##### B 内容

- ・甲長・体重測定（基礎データ収集のため）
- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメ6個体に標識を装着（個体識別のため）。

##### C 方法

- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメの幼体を計測する。
- ・アカウミガメの幼体を放流する前に金属製の標識装着作業を行う。

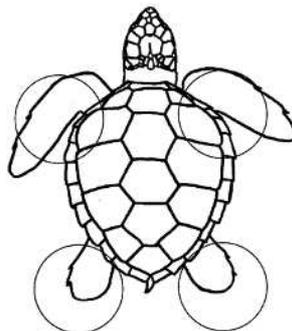
##### D 予想される結果

継続的に本研究を行うことで、北太平洋におけるアカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することができる。

##### E 金属製の標識を取り付ける場所（第12図参照）

大きさ

- ・前肢部分  
全長 20 mm 幅 2 mm
- ・後肢部分  
全長 7 cm 幅 8 mm



第13図 標識を取付ける場所の模式図



写真5 標識を付けたウミガメの様子1



写真6 標識を付けたウミガメの様子2

(2) 御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事

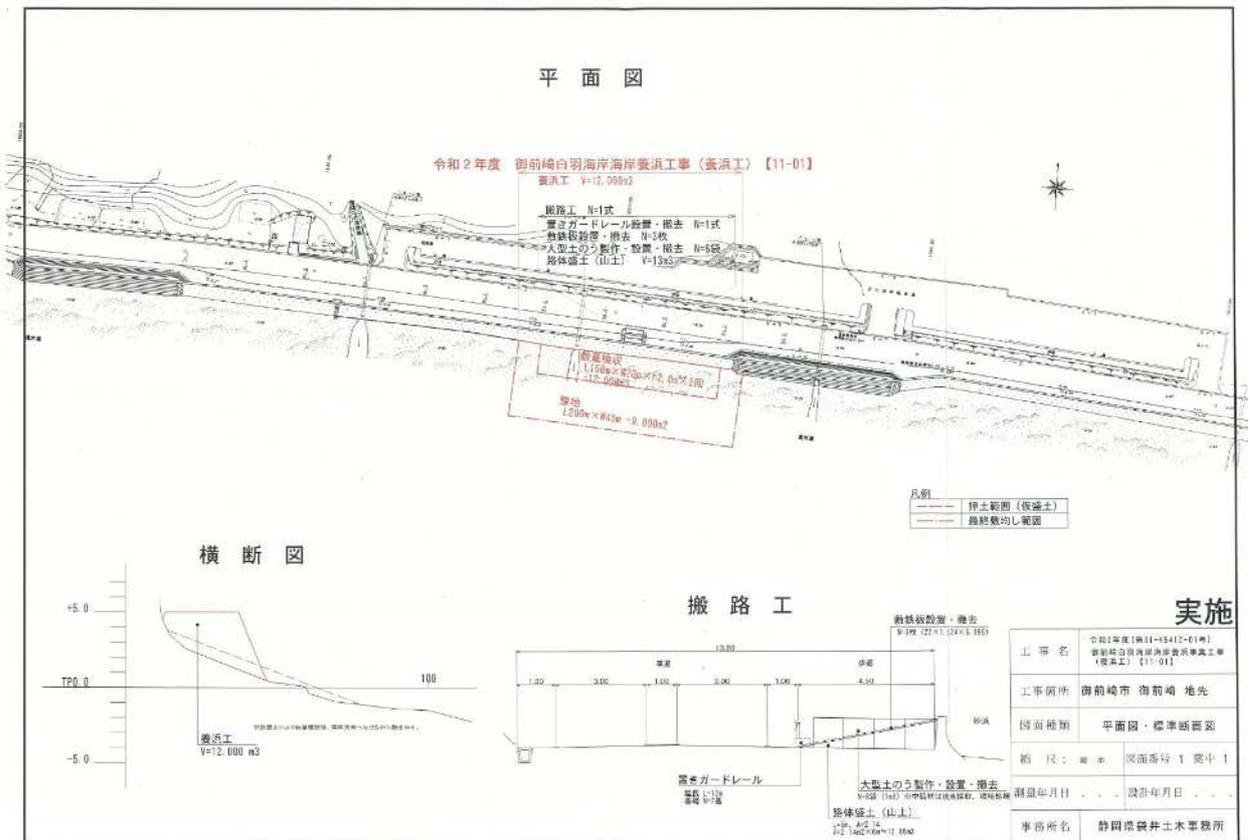
現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先  
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太  
 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区追手町  
 9番6号  
 着手及び終了の時期 令和4年4月22日から  
 令和4年7月15日  
 施行者の氏名 静岡県袋井土木事務所長  
 施工者の住所 袋井市山名町2番1号



第14図 海岸養浜工事運搬経路

① 現状変更等の内容及び実施の方法

砂浜の浸食対策としてマリナーパーク御前崎内の浚渫砂及び2級河川箴川の浚渫砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜 (V=12,000m<sup>3</sup>) した。ダンプトラックにより土砂を海岸へ直接投入し、その後、ブルドーザーにより周辺地形と調和するようになだらかに敷き均した。



第15図 令和2年度御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事（養浜工）平面図【参考】

### 3 ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 8 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

令和 4 年度におけるウミガメのふ化頭数は、前年比で見れば増加し、上陸・産卵頭数及び産卵個数に関しても、過去の統計と比較すると良好な結果となった。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止されていた産卵観察会も実施することができ、ウミガメの上陸姿を見ることはできなかったものの、市内外及び県外から多くの方々が訪れていただき、これまでのウミガメ保護活動の軌跡を知っていただくことができた。

一方で、御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場所）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。

御前崎の豊かな自然の保全やウミガメが安心して産卵できる環境を整えるため海岸清掃や産卵地の巡視を実施するとともに、静岡県による養浜工が継続して行われている。しかし、風や波の影響で海岸が侵食され続けているのが、御前崎の産卵地における現状といえる。

ウミガメの種を保存していくことを第一に考えつつ、ウミガメから御前崎の自然や文化を伝達し、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たちに感じてもらえるように活動していきたい。

ウミガメ保護監視員等への励ましや保護活動に向けられる興味関心、貴重な御意見・御指導いただいた多くの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動に、あたたかい御支援・御協力をお願いいたします。



写真 7 御前崎小学校で育ち、大海原に旅立つアカウミガメ

## 4 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業

### (1) 保護事業の内容及び実施の方法

国指定天然記念物である「白羽の風蝕礫産地」は御前崎市が管理団体になっていることから、保護事業として南側の駐車場部分や北側の市道新神子広沢線沿いの除草等業務を実施している。

令和4年度の除草等業務は、一般社団法人御前崎市シルバー人材センター及び株式会社雄樹園に委託して実施した。

一般社団法人御前崎市シルバー人材センターによる駐車場部分(第16図の除草業務箇所①)の除草等業務は、令和4年7月29日と11月30日に草刈り機などを使用して、県道佐倉御前崎港線から駐車場への入口通路から万葉の歌碑周辺の駐車場部分の除草等業務を実施した。刈った草や竹などについては2tダンプに積んで搬出し、ゴミ焼却場に運搬して処分した。

株式会社雄樹園による市道新神子広沢線沿い(第16図の維持の措置箇所②)の除草等業務は、令和4年10月6日に草刈り機などを使用して、市道新神子広沢線から白羽の風蝕礫産地内に樹木がある部分までの斜面の草や竹などの除草等を実施した。刈った草や竹などについては2tダンプに積んで搬出し、ゴミ焼却場に運搬して処分した。



1 駐車場入口通路の除草等業務施行前



2 駐車場入口通路の除草等業務施行後



3 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施行前



4 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施行前

写真8 白羽の風蝕礫産地駐車場部分の除草等業務1



1 除草作業施行風景 1



2 刈った草のダンプへの積込風景



3 除草等業務の施工前 1



4 除草等業務の施行後 1

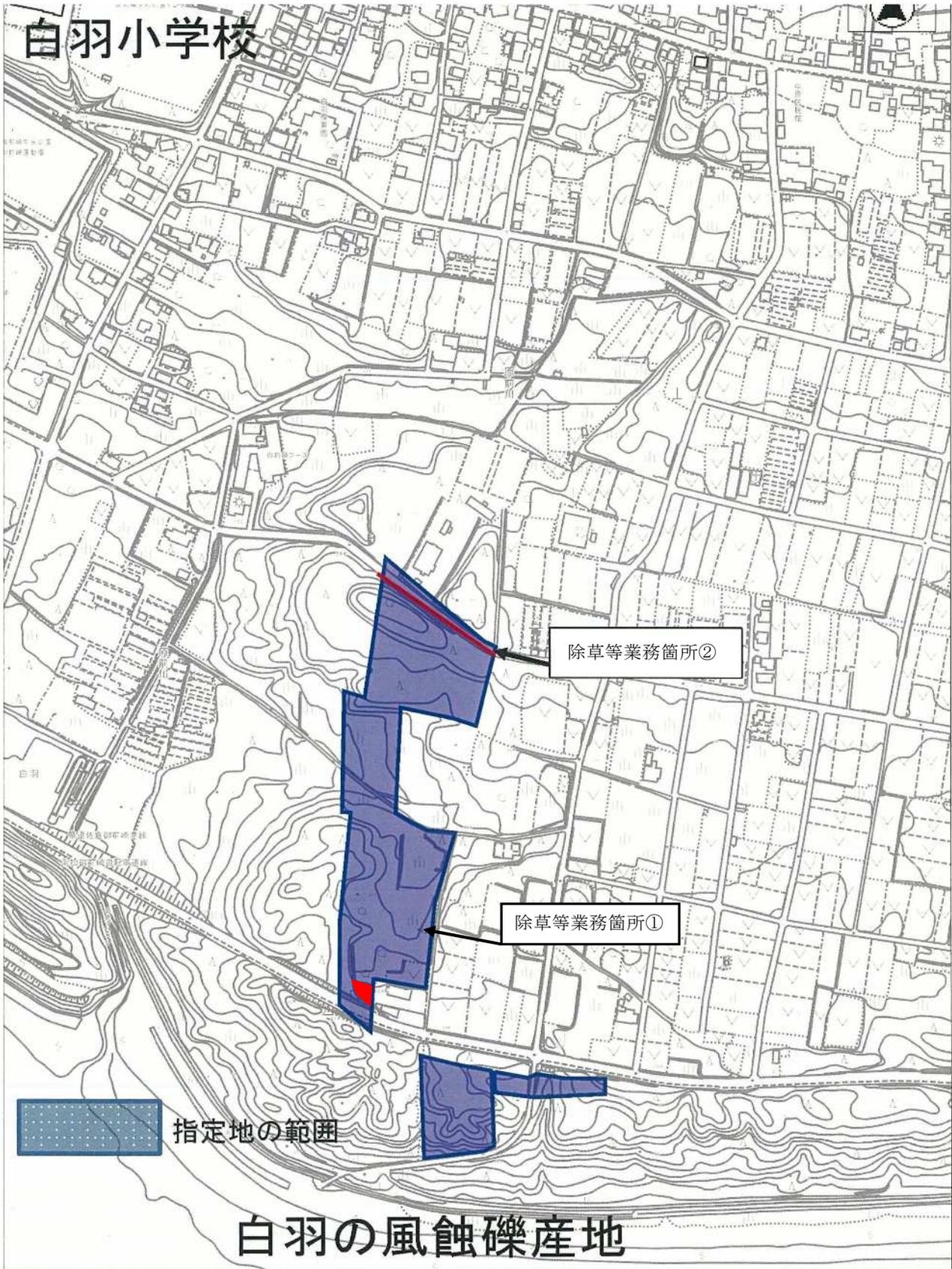


5 除草等業務の施工前 2



6 除草等業務の施行後 2

写真 9 白羽の風蝕礫産地市道新神子広沢線沿いの除草等業務 2



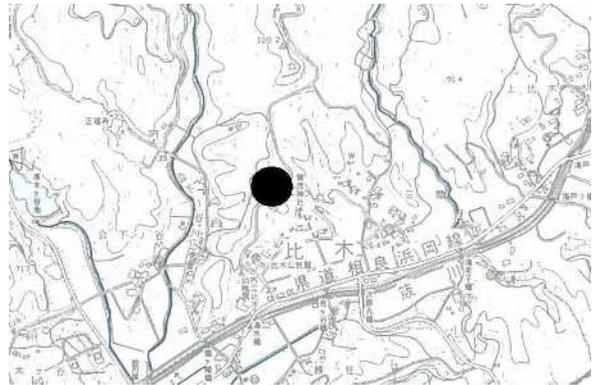
第 16 図 白羽の風蝕礫産地の除草等業務箇所位置図

## 5 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更

### (1) 現状変更に至る経緯

地元の比木地区の団体である比木賀茂神社自然公園管理運営委員会が毎月1回、賀茂神社社叢の巡視を行っており、令和5年2月6日に経年劣化により、駐車場側の遊歩道の丸太階段の横木の1つが折れて損傷していることが判明した。

令和5年2月7日午後2時頃に、比木賀茂神社自然公園管理運営委員会の事務局である比木地区センターのセンター長から社会教育課の文化財保護担当者に連絡があったため、現地を確認し、損傷の現状を把握するため写真により記録した。



第17図 比木賀茂神社社叢の位置(1/25,000)

### (2) 現状変更の概要

今回の現状変更は、平成17年3月に設置された比木賀茂神社社叢内の遊歩道の木製の丸太階段の横木1本が経年劣化により折れてしまったことから、見学者の安全のために修理を行うこととなった。

令和5年2月21日付けで御前崎市長 柳澤重夫から御前崎市教育委員会教育長職務代理者 竹田和世に申請があった。今回の静岡県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更については、静岡県文化財保護条例第33条第1項及び静岡県事務処理の特例に関する条例別表第1の6の14(25)、静岡県事務処理の特例に関する条例の施行のための知事の権限に属する事務の規則第3条第1項第2号に基づき、令和5年2月22日付御教社第755号で許可された。

令和5年2月26日に現在破損している木製の丸太階段の横木とそれを支えている丸杭2本を人力で撤去し、御前崎市中で購入したブラ疑木製の丸太(100mm×750mm)1本と2本の丸杭を使用して、人力で遊歩道丸太階段の横木を設置した。

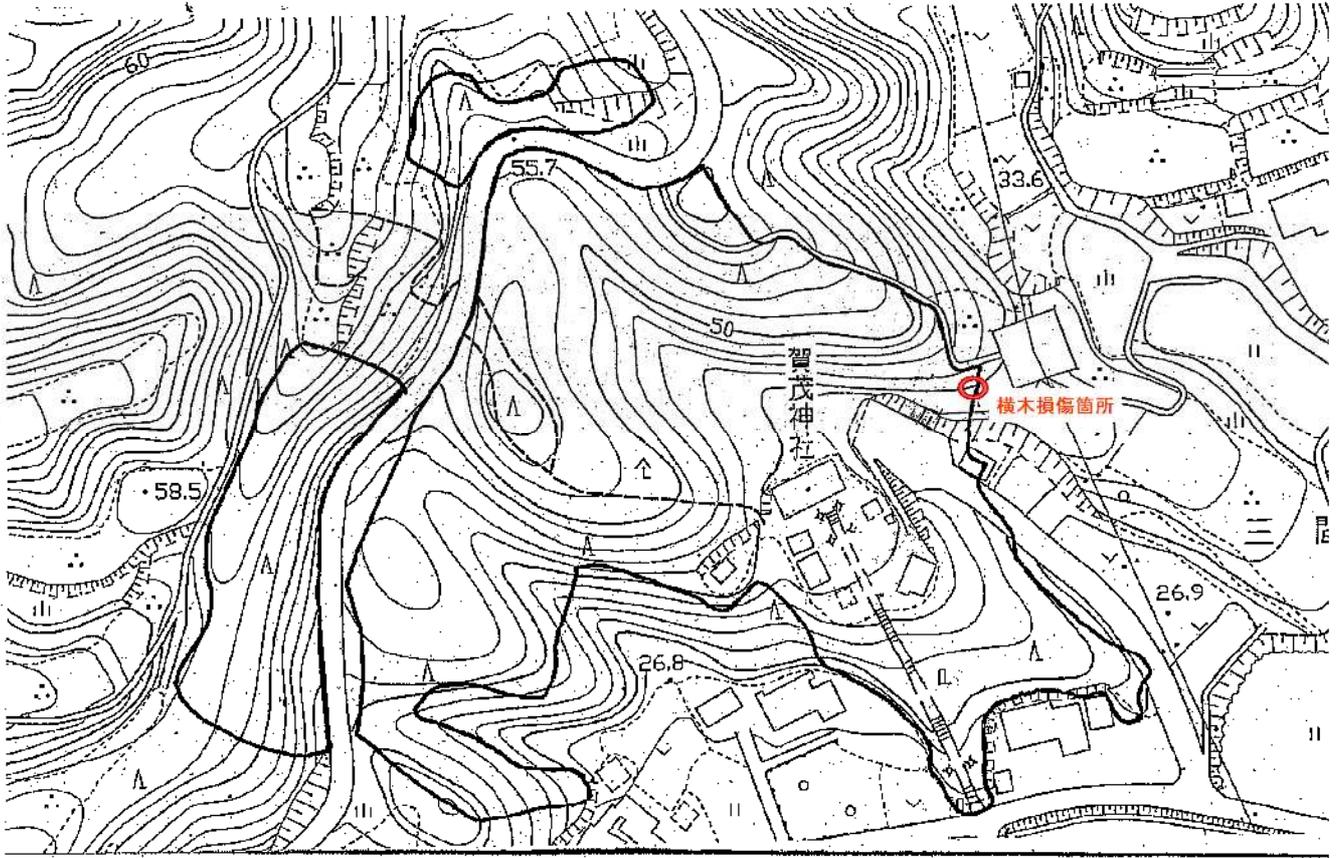
現状変更が終了したことから、令和5年3月31日付御教社第858号で、御前崎市長 柳澤重夫から御前崎市教育委員会教育長職務代理者 竹田和世に現状変更終了届の届出があった。



写真10 遊歩道階段丸太横木損傷状況1



写真11 遊歩道階段丸太横木損傷状況2



第 18 図 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」遊歩道階段丸太横木損傷箇所位置図



写真 12 遊歩道階段丸太プラ擬木製横木設置後 1



写真 13 遊歩道階段丸太プラ擬木製横木設置後 2

## 6 市指定有形文化財「本居宣長像自賛(掛軸)」の指定

### (1) 本居宣長像自賛(掛軸)の概要

この掛軸は、現在、池宮神社資料館に展示されており、江戸時代の寛政2年(1790)に国学四大人の一人で日本最古の歴史書『古事記』を研究し、35年をかけて『古事記伝』44巻を執筆した本居宣長(1730～1801)が自身で描いた絵画に賛を記した『本居宣長自画自賛六十一歳像』(国指定重要文化財)の絵画を狩野派の画家が模写し、本居宣長自身が自ら賛を書いたものを、弟子である池宮神社宮司第42代宮司の佐倉豊麿(1757～1806)が手に入れたと考えられる。

三重県松坂市の本居宣長記念館の学芸員や愛知東邦大学の増田孝客員教授(古文書学者・書跡史学者)に依頼して、本物件の賛についての鑑定を実施した結果、本居宣長真蹟に間違いのないとの鑑定結果が得られた。

この『本居宣長像自賛(掛軸)』が御前崎市の池宮神社に存在していることにより、江戸時代中期から後期にかけての遠江の国学がいかに盛んであったかが分かり、佐倉豊麿が栗田土満や賀茂真淵、本居宣長などの多くの国学者に師事して、この地域の国学隆昌や文化活動に関与していたことを伝える品と言えることから、御前崎市及びこの地方の文化史上たいへん貴重なものである。

### (2) 指定に至るまでの経緯

#### ① 文化財指定申請

令和4年5月13日付けで、池宮神社宮司の佐倉東武氏より、市指定有形文化財(書跡)の文化財指定申請書が御前崎市教育委員会に提出された。

#### ② 御前崎市文化財保護審議会への諮問

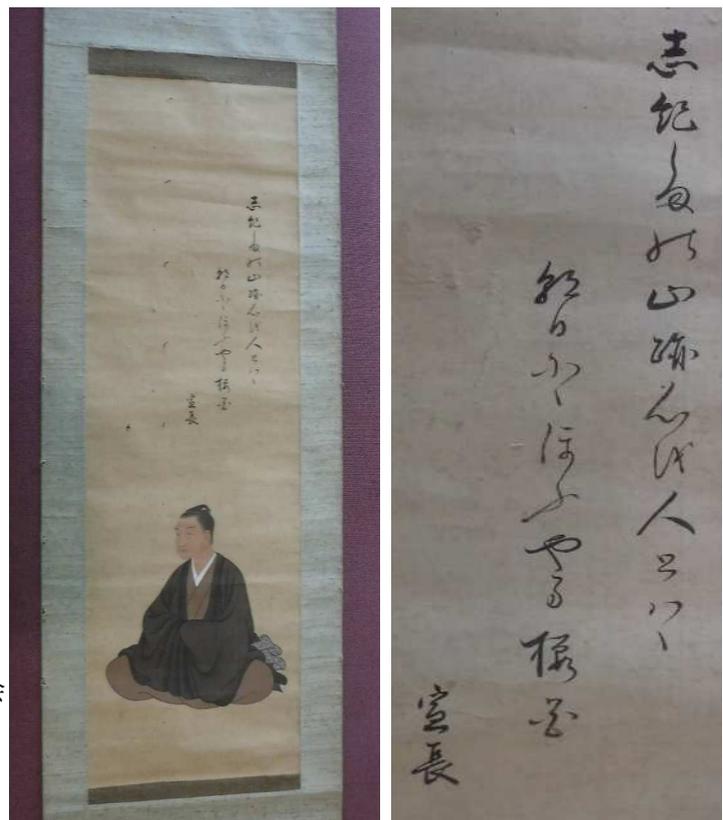
御前崎市教育委員会は令和4年5月26日付けで、御前崎市文化財保護審議会条例第4条第3項に基づき、市文化財保護審議会に御前崎市指定文化財への指定について諮問した。

#### ③ 御前崎市指定文化財の指定についての答

申御前崎市教育委員会の諮問に応じて令和4年7月1日と8月18日に文化財保護審議会を開催し、「本居宣長像自賛(掛軸)」の指定についての審議が実施された。その結果、御前崎市指定有形文化財(書跡)に指定することが妥当であると教育委員会に答申された。

#### ④ 御前崎市教育委員会による指定

令和4年8月26日に定例教育委員会が開催され、同日付で御前崎市指定有形文化財(書籍)に指定された。



1 掛軸の全景

2 自賛近景

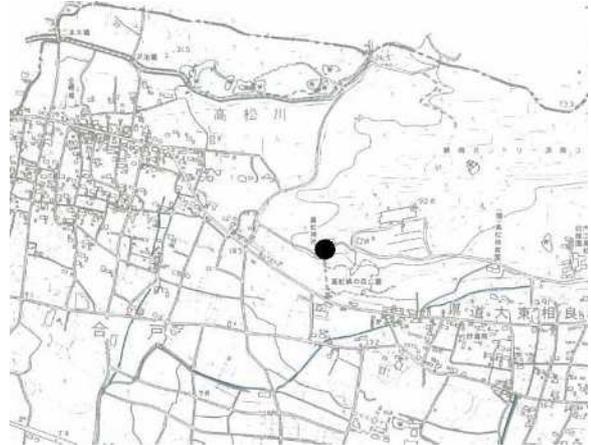
写真14 市指定有形文化財「本居宣長像自賛(掛軸)」

## 7 文化財看板の修繕及び新設工事

### (1) 「高松神社本殿」説明看板の修繕工事

- 1 施工年月日 令和4年6月24日
- 2 施工場所 御前崎市門屋2068
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

高松神社本殿が市指定有形文化財に指定された平成19年度に説明看板が設置されが、15年を経過し、看板の柱部分が根腐れを起こし、倒れる危険があったため、更新工事を実施した。



第19図 高松神社本殿の位置(1/25,000)



写真15 旧「高松神社本殿説明看板」

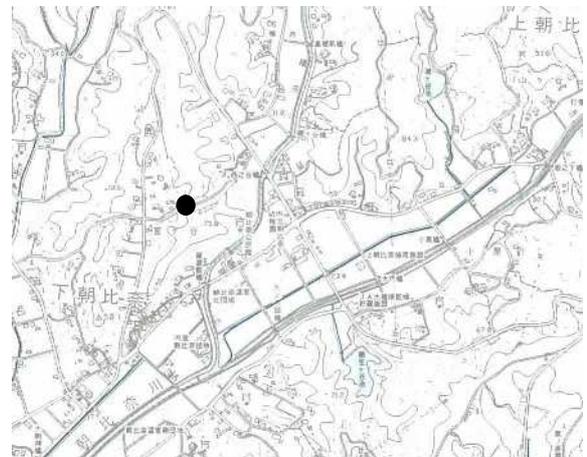


写真16 更新した「高松神社本殿」説明看板

### (2) 「旧朝比奈小学校の黒松」説明看板新設工事

- 1 施工年月日 令和4年7月4日
- 2 施工場所 御前崎市上朝比奈  
2681-2
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

旧朝比奈小学校の黒松は、令和3年3月24日に指定されたことから、「旧朝比奈小学校の黒松の近くの、旧朝比奈小学校の門柱付近に、説明看板を新設した。



第20図 旧朝比奈小学校の黒松の位置(1/25,000)



写真 17 「旧朝比奈小学校の黒松」説明看板設置前 写真 18 「旧朝比奈小学校の黒松」説明看板設置後

## 8 文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化業務委託

民具は有形民俗文化財とも呼ばれ、衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋、その他の物件など人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承で人々の生活の推移を示すものである。

これらの民具は御前崎市民のみならず、国民ひいては人類すべての共有財産でもあることから、これらを適切な環境のもとで管理・保存し、後の世に引き継いでいくと同時に、時間や地理的な制約等を超えて鑑賞できる状況を創り出していくことが必要である。しかし、これらの民具資料は、年月の経過とともに色や材質等の劣化や退色などは避けられない。

これを解決する手段として、文化財整理室にある民具台帳をデジタル化することにより、情報の損失なく半永久的に保存することができ、ネットワーク技術の活用によって文化財整理室に収蔵されている民具を多くの人々に閲覧してもらうことが可能となる。

そのため、今年度から文化財整理室所蔵の民具台帳のデジタル化業務委託を実施することとなり、今年度は、令和4年5月6日から令和5年3月8日にかけて、株式会社イビソク静岡営業所に委託して、衣類、飲食、光熱、家具、住居等の民具 328 点の民具台帳のデジタル化が完了した。

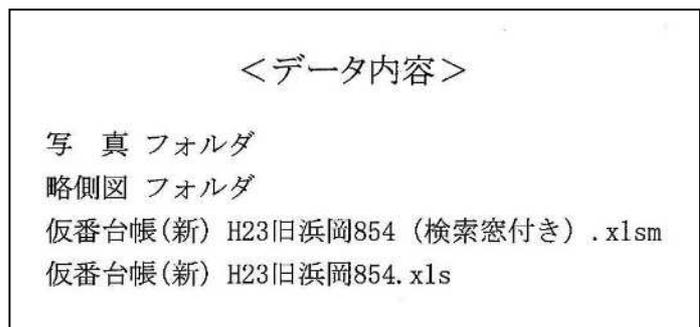
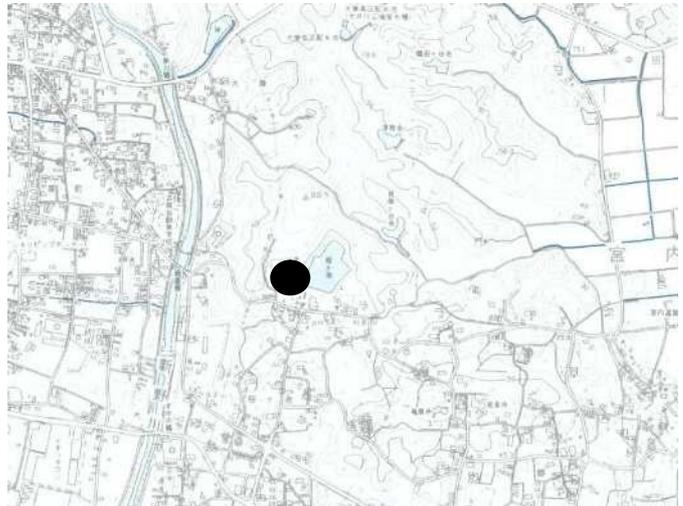


写真 19 民具台帳デジタル化の成果品のデータ内容

## 9 文化財防火デー

昭和24年1月26日に、法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことから、この日が「文化財防火デー」と定められた。貴重な文化財を火災や震災などから守るため、この日を中心に全国各地で、文化財の防火訓練が行われ、国民の文化財愛護意識の高揚が図られている。

御前崎市でも令和5年1月22日に、市指定有形文化財「池宮神社本殿」の境内地において、消防本部、消防署、地元消防団、高松神社関係者及び市文化財保護審議会委員などが参加して放水訓練などが実施された。



第21図 池宮神社本殿の位置(1/25,000)



1 初期消火訓練(神主)



2 消防団員による放水訓練



3 消防署員による放水訓練



4 消火器の使用訓練

写真20 池宮神社本殿消防訓練風景

## 10 御前崎市文化財保護審議会

御前崎市文化財保護審議会は、平成16年4月1日に施行された「御前崎市文化財保護条例」及び「御前崎市文化財保護審議会条例」に基づき同年4月に設置された。同会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議し、これらの事項に関して教育委員会に答申することを目的とする。

### (1) 委員の構成（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

役職名	氏名	就任年月日	地区
会長	清水 芳治	R4.4.1 (H24.4.1)	佐倉
副会長	齋藤 正敏	R4.4.1 (H21.4.1)	白羽
委員	橋本 益利	R4.4.1 (H24.4.1)	比木
委員	河原崎 尚己知	R4.4.1 (H30.4.1)	朝比奈
委員	浅井 義幸	R4.4.1 (R2.4.1)	池新田
委員	山下 洋子	R4.4.1 (R4.4.1)	高松
委員	松井 秀浩	R4.4.1 (R4.4.1)	御前崎
委員	村松 学	R4.4.1 (R4.4.1)	新野

\*就任年月日の（ ）は、初就任年月日を示す

### (2) 第1回文化財保護審議会

日時 令和4年7月1日（金） 13:30～16:25

場所 御前崎市役所3階301会議室

議事 ① 委嘱状交付

② 正・副会長選出

③ 「本居宣長像自賛(掛軸)」の現地調査

④ 「本居宣長像自賛(掛軸)」の御前崎市指定有形文化財指定への諮問に係る審議

⑤ その他

### (3) 第2回文化財保護審議会

日時 令和4年8月18日（木） 13:25～15:00

場所 御前崎市役所3階303会議室

議事 ① 「本居宣長像自賛(掛軸)」の御前崎市指定有形文化財指定への諮問に係る審議

② その他

# Ⅲ 文化財活用啓発活動

## 1 埋蔵文化財出張授業

埋蔵文化財出張授業は開催希望があった学校や地区センターなどに文化財保護担当職員等が出張して体験学習を中心としたカリキュラムを実施し、市民に埋蔵文化財を見て、触れて、体験してもらい、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。令和4年度は、埋蔵文化財出張授業の開催依頼があった御前崎市立第一小学校6年生と比木地区センター主催の比木歴史探訪ウォークの参加者を対象に開催した。

### (1) 御前崎市立第一小学校における埋蔵文化財出張授業

- 1. 対象者 御前崎市立第一小学校6年生 112名(1組37名、2組37名、3組38名)
- 2. 開催日時 令和4年6月20日(月) 10時20分～11時50分
- 3. 開催場所 御前崎市立第一小学校 御前崎市池新田1520
- 4. 授業内容 市の文化財を保護する仕事の講演(体育館)・勾玉づくり体験学習(図工室)・昔の火起こし体験学習(体育館前広場)

#### 5. 授業の方法

社会教育課職員3名が第一小学校に出張して、御前崎市の文化財を保護する仕事についての講演、勾玉づくり体験、昔の火起こし体験の3講座を開催した。出張授業の方法としては、3クラスあることから、1つのクラスが3つの講座のどれか1つを30分ずつ授業を受け、終わったら別の講座に移動する方法で行った。



1 講演風景



2 勾玉づくり体験学習風景



3 昔の火起こし体験学習風景

写真21 御前崎市立第一小学校埋蔵文化財出張授業風景

(2) 比木地区センター主催の比木歴史探訪ウォークにおける埋蔵文化財出張授業

1. 対象者 比木地区民 29名(地区センター長・事務員含む)
2. 開催日時 令和5年2月26日(日) 8時45分～12時00分
3. 開催場所 比木地区センター集合 → 矢村義塾跡 → 殿の山 → 比木城山→比木原大茶園 → 散歩道福田沢 → 比木地区センター到着
4. 授業内容 比木歴史探訪ウォークでの「殿の山・比木城山」の説明
5. 授業方法 社会教育課の芸術文化係の職員1名が同行して、歩きながら比木地区の殿の山や比木城山の縄張りや発掘調査成果等についての説明を参加者に行った。



1 矢村義塾跡での説明風景



2 殿の山での説明風景



3 比木城山での説明風景



4 比木城山への登山風景

写真 22 比木地区主催の比木歴史探訪ウォークでの埋蔵文化財出張授業風景

## 2 指定文化財出張授業

### (1) 広沢老人クラブ広生会における指定文化財出張授業

指定文化財出張授業は、御前崎市内の指定文化財の説明を市内の学校や地域団体を対象に学校や地区センター等に文化財保護担当職員等が出張して、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。令和4年度は、指定文化財出張授業の開催依頼があった広沢老人クラブ広生会の会員を対象に開催した。

1. 対象者 広沢老人クラブ広生会の会員 23名
2. 開催日時 令和5年1月17日(火曜日) 13時15分から14時30分
3. 開催場所 広沢区コミュニティセンター 御前崎市御前崎106番地の36
4. 授業内容 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の講演  
市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の青い目の人形」の講演

広沢老人クラブ広生会の事業の一環として、御前崎市を文化財を学ぶことを目的としてウミガメ保護と青色目の人形についての講演会を計画したため、社会教育課の文化財担当職員2名と、ウミガメ保護監視員代表1名が出張して、指定文化財出張授業を行った。

最初にウミガメ保護担当職員がウミガメ保護の概要について講演し、その後ウミガメ保護監視員代表が、その役割やウミガメ保護監視活動における自身の経験談の講演を行った。

最後に、文化財担当職員がマーベルワレンちゃん物語というテーマで講演を行った。授業を分かりやすくするため、参加者に「青い目の人形関連年表」を配布した。



写真 23 ウミガメ保護について講演風景 1



写真 24 ウミガメ保護について講演風景 2

### 3 御前崎市文化財講座

#### (1) 御前崎地区文化財講座の概要

御前崎市内には、古墳、横穴、中世城館や墓地などの埋蔵文化財や建造物、彫刻、絵画、史跡名勝天然記念物などの指定文化財が数多くある。これらの御前崎市内の文化財を活用し、市民の文化財についての理解を深めるため「御前崎市文化財講座」を平成30年度から開設している。令和4年度は、御前崎地区センターとの共催事業として開催した。

#### (2) 御前崎地区文化財講座の内容

回数	開催日時	参加人数	テーマ	講師
第1回	令和4年10月1日(土)	33名	第1部 「御前崎地区の文化財」	市文化財保護審議会副会長 齋藤正敏
			第2部 「灯台から見る日本の近代」	東京工業大学 名誉教授 藤岡洋保
第2回	令和4年10月15日(土)	21名	「御前崎地区の文化財巡り」 「御前崎灯台の文化財」 「海福寺の文化財」	市文化財保護審議会副 会長 齋藤正敏
			「ウミガメふ化場・ウミガメ 産卵地」	市ウミガメ保護監視員 代表 良知正美
			「駒形神社の文化財」	駒形神社 宮司 高山國臣
			「御前崎小学校で飼育中の アカウミガメの子ガメ」 「女岩観音堂の文化財」	市教育委員会社会教育課 ウミガメ担当職員 女岩区 町内会長 松林篤生



1 齋藤正敏講師による第1部の講演風景

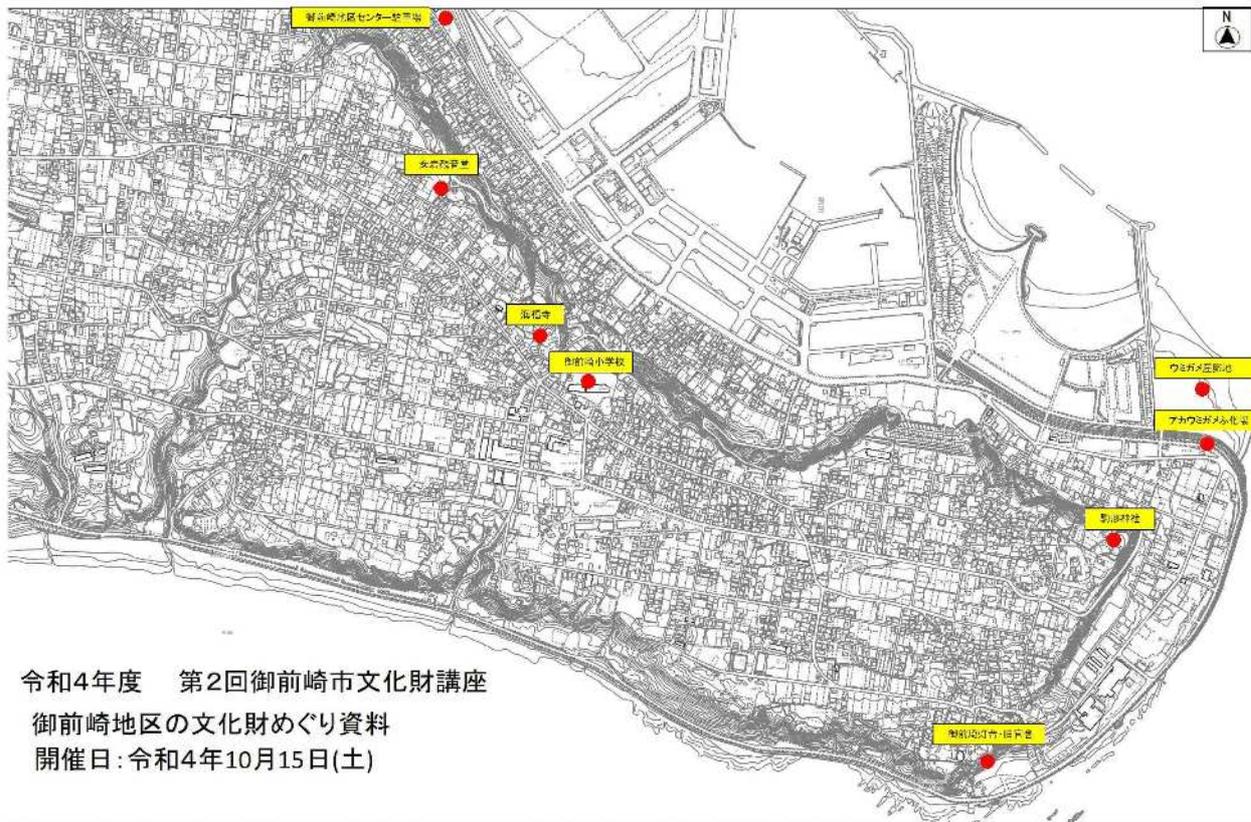


2 第2部講師の藤岡洋保氏

写真 25 第1回御前崎地区文化財講座第1回文化財講演会講師

(3) 御前崎地区の文化財巡り」コース

御前崎地区センター駐車場出発→ウミガメふ化場と御前崎のウミガメ産卵地(国指定天然記念物)→国指定重要文化財「御前崎灯台」「旧官舎」等の見学→駒形神社(市指定有形文化財「駒形神社本殿」・絵画「千羽の鶴」)→御前崎小学校のアカウミガメ飼育小屋(アカウミガメの子ガメ)→海福寺市指定有形文化財「いもじいさんの碑」・市指定天然記念物「いちょうの木」→女岩観音堂(市指定有形民俗文化財「石造十一面観音菩薩像、附:石造三十三観音像」)→御前崎地区センター駐車場到着・解散



令和4年度 第2回御前崎市文化財講座  
御前崎地区の文化財めぐり資料  
開催日: 令和4年10月15日(土)

第22図 第2回文化財講座「御前崎地区文化財めぐり」見学箇所位置図



写真26 第2回御前崎市文化財講座の駒形神社見学風景

**御前崎市文化財講座**

御前崎地区の歴史や文化財を探る講座を開催します。この機会に郷土の歴史や自然を学んでみませんか！

**第1回** (会場: 御前崎市文化会館 大研修室)  
※会場: 御前崎市御前崎3-1-1  
**演題: 『御前崎地区の文化財』**  
 講師: 齋藤正敏氏 (市文化財保護審議会副会長)  
**演題: 『灯台から見る日本の近代』**  
 講師: 藤岡洋保氏 (東京工業大学名誉教授)  
 令和4年10月1日(土) 午後1時00分～午後4時30分

**第2回** (集合場所: 御前崎地区センター駐車場)  
※会場: 御前崎地区センター  
**『御前崎地区の文化財めぐり』**  
 講師: 齋藤正敏氏 (市文化財保護審議会副会長) 他  
 令和4年10月15日(土) 午後1時00分～午後5時15分  
※御前崎灯台自然観察会(2000円)が対象となります。

※ 参加費: 0円 (但し、お弁当代1000円別途) ※ 申し込みは必ずお申し込みください。  
 R4後期版の生涯学習ガイドブック掲載の申込カード  
 又は右記のQRコード、電話でお申込みください。  
**申込期間: 令和4年9月1日～20日**

**申込先着45名様**で定員となります。対象: 御前崎市在住の方  
**☎0537-29-8735** 御前崎市教育委員会社会教育課  
 受付時間: 午前8時15分～午後5時(土・日・祝日を除く)  
 主催: 御前崎市教育委員会 共催: 御前崎地区センター

写真27 文化財講座チラシ

## 4 市内イベントにおける文化財ブースの開設

### (1) 御前崎市大産業まつりにおける埋蔵文化財体験学習

① 日 時 令和4年11月26日(土)・27日(日)

② 場 所 御前崎市役所西側通路

教育委員会社会教育課では、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育むことを目的として、御前崎市大産業まつりにおいて「原始工房 縄文屋」という名称で昔の火起こし体験、勾玉づくり体験ができるコーナーを開設した。

今年度は11月26日(土)に勾玉づくり体験コーナー、27日(日)に昔の火起こし体験コーナーを1日ずつ開催し、勾玉づくり体験が67名、昔の火起こし体験が86名の合計107名の子供や親子が参加した。

また、御前崎灯台関係または市内の文化財に関するパネルを展示と、文化財関係パンフレットの配布2日間実施した。



1 勾玉づくり体験ブース(1日目の出展の様子)



2 火起こし体験ブース(2日目の出展の様子)



3 勾玉づくり体験の様子



4 昔の火起こし体験の様子

写真 28 御前崎市大産業まつり「原始工房 縄文屋」ブース

## (2) 灯台ワールドサミット in 御前崎での「国指定重要文化財の現役灯台パネル展」の開催

### 1 目的

令和3年8月2日に御前崎灯台が国重要文化財に指定され、同じ海上保安庁第三管区にある清水灯台(静岡市清水区三保)も、令和4年5月20日(金)に国の文化審議会が重要文化財(建造物)に指定するよう文部科学大臣に答申された。それを記念して「灯台ワールドサミット in 御前崎」にあわせ、御前崎灯台・清水地灯台国重要文化財指定記念として、御前崎灯台の所有者である海上保安庁と御前崎市教育委員会の共催で国指定重要文化財の現役灯台パネル展を開催し、重要文化財に指定された灯台の価値を再認識してもらおう。

### 2 会場

御前崎市B&G海洋センター体育館  
所在地：御前崎市御前崎 46-30

### 3 開催日時

令和3年11月5日(土) 10:00~17:00

### 4 実施形態

主催 御前崎市教育委員会・共催 清水海上保安部

### 5 展示内容

御前崎市の国指定重要文化財「御前崎灯台」の展示パネルや重要文化財指定書の写しをはじめ、同じ海上保安庁第三管区にある国指定重要文化財「清水灯台」の展示パネルや重要文化財指定書の写しを展示した。

また、令和2年12月23日に4基同時に現役灯台としてはじめて国重要文化財に指定された犬吠埼灯台(千葉県銚子市)、角島灯台(山口県下関市)、六連島灯台(山口県下関市)、部埼灯台(福岡県北九州市)、令和4年2月9日に国重要文化財に指定された美保関灯台(島根県)、出雲日御碕灯台(島根県)、江崎灯台(兵庫県淡路島)、清水灯台と同じく令和4年5月20日(金)に国の文化審議会が重要文化財(建造物)に指定するよう文部科学大臣に答申された菅島灯台(三重県鳥羽市)の概要を記した展示パネル等を展示した。

また、パネルの前に長机4台を設置して、御前崎灯台や清水灯台等のパンフレットを配架した。



写真 29 現役灯台パネル展のチラシ



写真 30 パネル展示全景



写真 31 パネル展示の見学風景

## 5 写真資料の利用

### (1) 株式会社オフィスげんぞうによる写真資料の利用

写 真 資 料 名	枚数	利 用 目 的	利用許可日
『御前崎町史写真集』掲載写真原本使用 ○浜の女たち ○灯台下の伝馬船 ○ナブラを見つけ多くの漁船が集まる ○若き船員 ○鯉の浜揚げと沖に停泊している鯉船 ○棒秤で計量 ○コンクリート製みさき丸練習 ○入港中の遠洋漁船に乗って鯉釣り練習 ○練習用模擬鯉を修理する女子 ○米軍機の空襲を受けた灯台 ○尾高海岸に座礁いた第5東亞丸長門丸 ○尾高海岸に座礁した第5東亞丸 ○浜廻りする人 ○エビ網専用船	合計 12枚	【ケーブルテレビ KATCH12ch】他、ひまわりネットワーク等で放送する東海地方にゆかりのある人物や産業、芸術や文化などの歴史、そしてそれを後世受け継ぐ取り組みを紹介し、この地方の魅力を発信する本格ドキュメンタリー『東海の肖像』で御前崎灯台や御前崎港等の写真を利用したいため	令和4年 4月27日
『御前崎町史写真集』からの転載使用 ○エビ網専用船 ○観光客で賑わう灯台付近とサイダーケースの山 ○灯台前広場のアイスクャンディ屋と公衆電話ボックス。 ○「喜びも悲しみも幾年月」ロケ風景 灯台守夫婦役 ○御前崎港からインド沖に向け出港するマグロ船 ○カツオ・マグロ船を見送る ○御前暗唱大根バエに座礁した「榛名丸」 ○遭難船の救助活動(救援航空隊ヘリ) ○遭難船の救助活動(御前崎救難所員) ○遭難船武一丸尾高海岸	合計 10枚		
『御前崎町史写真集』の写真データ提供 ○建設中の御前崎灯台 ○「喜びも悲しみも幾年月」ロケ風景 ○「喜びも悲しみも幾年月」 偽装された灯台をバックに	合計 3枚		

『御前崎通史編』の写真データ提供 ○廻船航路と灯明堂 ○ブラントン肖像	合計 2枚		
---	----------	--	--

(2) 御前崎市企画政策課による写真利用の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○関田院 ○左馬武神社 ○朝比奈城山 ○舟ヶ谷の城山 ○八幡平城跡 ○天ヶ谷の城跡 ○釜原城跡 ○比木の城山 ○横舟城跡	合計 9枚	三遠南信地域連携ビジョン推進会議で、2023年1月から放送されるNHK大河ドラマで、三遠南信地域にゆかりのある徳川家康公を主役とした「どうする家康」の放送が予定されており、その舞台となる三遠南信地域の認知度向上及び訪問していただくきっかけとするため、三遠南信地域周遊イベントの実施を計画している。同事業実施にあたり、御前崎市における徳川家康公及び「三方ヶ原の戦い」や「長篠の戦い」に関わりのあった武田家(信玄公・勝頼公)にゆかりのある史跡等の写真を提供するため	令和4年 6月14日

(3) 個人による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○旧朝比奈小学校の 青い目の人形	1枚	旧浜岡町の名所、歴史、伝承の調査を実施しており、調査結果をまとめた冊子に掲載したいため	令和4年 7月7日

(4) 個人による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○アカウミガメ ○子ガメのふ化 ○産卵の様子 ○海に向かう子ガメ	1枚	自由研究(アカウミガメの研究)での参考資料として利用したいため	令和4年 8月8日

(5) 個人による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○矢村宣昭の碑の拓本	1枚	調査のため	令和4年 9月15日

(6) 東海清風園による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○浜岡町閉町記念写真集「風紋」掲載の東海清風園関係	7枚	「東海清風園」70周年記念事業で発行する記念誌に掲載したいため	令和4年10月13日

(7) 静岡第一テレビ番組制作部による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○市指定有形文化財「いもじいさんの碑」 ○切干じいさん栗林庄蔵の碑	合計 2枚	静岡第一テレビ夕方情報番組「まるごと」内コーナー「あさがや手帳」の『干し芋』特集で写真を使用したいため	令和5年2月27日

## 6 歴史民俗資料等の貸出

(1) 中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	令和4年4月1日～令和5年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	令和4年4月1日～令和5年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	令和4年4月1日～令和5年3月31日
風呂鍬	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	令和4年4月1日～令和5年3月31日
水田除草機	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
唐箕	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
背負子	1点	新野	令和4年4月1日～令和5年3月31日
蓑	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
菅笠	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
藁草履	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	令和4年4月1日～令和5年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	令和4年4月1日～令和5年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	令和4年4月1日～令和5年3月31日
纏	1点	佐倉	令和4年4月1日～令和5年3月31日
ランプ	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
電話機	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
蓄音機	1点		令和4年4月1日～令和5年3月31日
合計	18点		

(2) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
○御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附：マーベル・ワレンの切符含む)	1点	御前崎市教育委員会	令和3年4月15日～ 令和3年4月22日

(3) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形(附： マーベル・ワレンの切符含む)	1点	御前崎市教育委員会	令和4年3月15日～ 令和4年3月17日

## 7 歴史民俗資料等の特別利用許可

(1) 株式会社オフィスげんぞうによる特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
国重要文化財附指定 「旧回転機械分銅自動巻き揚装置」	1点	【ケーブルテレビ KATCH12ch】 他、ひまわりネットワーク等で 放送する番組『東海の肖像』で 放映するため	令和4年 4月14日

(2) 静岡朝日テレビによる特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
国重要文化財附指定 「旧回転機械分銅自動巻き揚装置」	1点	静岡朝日テレビの番組で放映し たいため	令和4年 6月14日

(3) 読売新聞本社掛川通信部による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形(附： マーベル・ワレンの切符含む)	1点	読売新聞への掲載	令和4年 8月8日

(4) 東海清風園による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
1950年代の浜岡の写真等	1点	「東海清風園」70周年記念事 業で発行する記念誌に掲載する 写真を探したいため	令和4年 10月13日

## IV 指定文化財一覧表

### 1 国指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6621-246他	御前崎市他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	—	S55. 3. 6
3	重要文化財	御前崎灯台(灯台1基・旧官舎1棟)・附:旧回転機械分銅自動巻揚装置)	御前崎1581-1	海上保安庁・御前崎市(附)	R3. 8. 2

### 2 県指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30 第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17 第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5 第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	H9. 2. 17 第509号

### 3 市指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25 第1号
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25 第2号
3	史跡	星の糞遺跡(823㎡)	白羽2179-1他	個人	S44. 6. 25 第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15 第4号
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15 第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18 第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19 第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19 第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋952-1	個人	S52. 2. 28 第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	個人	S52. 2. 28 第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	個人	S53. 9. 4 第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂保存会	S62. 10. 28 第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	H2. 5. 17 第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	白羽3454-6	個人	H3. 11. 20 第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	H6. 1. 31 第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H6. 1. 31 第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一面観音菩薩保存会	H10. 3. 27 第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来保存会	H10. 3. 27 第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	個人	H10. 3. 27 第20号
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	H11. 12. 1 第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1 第22号
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	門屋2068	高松神社	H19. 9. 25 第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	H20. 12. 19 (附:H26. 5. 26) 第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25 第27号
27	天然記念物	旧朝比奈小学校の黒松	下朝比奈2681-2	御前崎市	R3. 3. 24 第28号
28	書跡	本居宣長像自賛(掛軸)	佐倉5162	池宮神社	R4. 8. 26 第29号

## V 文化財関係刊行図書一覧

### 1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『-郷土のかおり-年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとの岬』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『星の糞遺跡発掘調査報告書』		

### 2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門屋横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『目で見る 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品図版編)』
平成9年度	『郷土の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新田・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集『南谷遺跡 遺物編2(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第5集『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集『南谷遺跡 遺構編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書『「桜ヶ池のお櫃納め」と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

### 3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世一)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

### 4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』—近世—
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・新道開鑿日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三『新野村誌・池新田村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋—浜岡町・閉町記念写真集—』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集 『比木城山遺跡Ⅱ』	平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾 『新野川流域の文化財』	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾 『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集 『勝佐墳墓群』	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成26年度	御前崎指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」パンフレット
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾 『箴川流域の文化財』	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅠ』平成26年度版
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅡ』平成27年度版
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾 『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	平成29年度	桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレット
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版	令和元年度	高天神城跡をめぐる武田系城砦群 —御前崎市新野・朝比奈・比木地域とその周辺—
平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集 『山田ヶ谷北横穴群』	令和3年度	国指定重要文化財 御前崎灯台パンフレット

※御前崎市文化財年報は、平成29年度版の文化財年報ⅩⅢ以降は刊行していないが、御前崎市のホームページに掲載している。

静岡県御前崎市  
文化財年報XIX

令和5年3月31日

編集 静岡県御前崎市教育委員会  
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585  
TEL 0537-29-8735  
FAX 0537-29-8737